

# 山鹿市総合戦略等に関する 市民アンケート調査結果

令和4年3月  
山鹿市 秘書政策課

# 目次

<b>I. 市民アンケート調査概要</b> .....	<b>1</b>
1. アンケート調査の目的 .....	1
2. 調査対象 .....	1
3. 調査事項 .....	1
4. 調査期間 .....	1
5. 調査方法 .....	1
6. 回収状況 .....	1
<b>II. 回答者ご自身の現状</b> .....	<b>2</b>
問1 性別について .....	2
問2 年齢について .....	2
問3 お住まいの地域について .....	3
問4 結婚について .....	4
問5 同居されているお子様（18歳未満）について .....	4
<b>III. 山鹿市の現状について</b> .....	<b>5</b>
問6 山鹿市の人口減少について .....	5
問7 山鹿市の元気度について .....	7
問8 山鹿市の基幹産業である農林業について現状をどう思われますか .....	9
問9 山鹿市が力を入れている山鹿灯籠などの観光産業について現状をどう思われますか .....	11
<b>IV. 人口政策について</b> .....	<b>13</b>
問10 山鹿市総合戦略における、人口政策でもっとも充実して欲しい取組について .....	13
問11 山鹿市で取り組んでいる人口政策の満足度と重要度について .....	15
<b>V. 経済政策について</b> .....	<b>21</b>
問12 山鹿市総合戦略における、経済政策でもっとも充実して欲しい取組について .....	21
問13 山鹿市で取り組んでいる経済政策の満足度と重要度について .....	23
<b>VI. 山鹿市総合計画について</b> .....	<b>25</b>
問14 「人輝き飛躍する都市 やまが」実現のために、もっとも重要と思われるものについて .....	25
問15 山鹿市で取り組んでいる山鹿市総合計画の先導施策の満足度と重要度について .....	27
<b>VII. 山鹿市に対する考えについて</b> .....	<b>30</b>
問16 山鹿市は暮らしやすい街だと思いますか .....	30
問17 問16で「暮らしにくい」と回答された理由について .....	32
問18 今後も山鹿市に住みたいと思いますか .....	37
問18 住みたい理由 .....	40
問18 市外へ転居したい理由 .....	41
問19 市外在住者や企業に「選ばれる山鹿」になるため、特に重要と思われる取組 .....	44
<b>VIII. 総合戦略について（話題別 自由記述抜粋）</b> .....	<b>45</b>
問20 今後、充実すべき取組や、新たな取組等について .....	45
<b>IX. 【地方創生】市民アンケート総括</b> .....	<b>51</b>

〈山鹿市の現状について〉 .....	51
〈人口政策について〉 .....	51
〈経済政策について〉 .....	54
〈山鹿市に対する考えについて〉 .....	56

# I. 市民アンケート調査概要

## 1. アンケート調査の目的

総合戦略は、年度ごとの進捗管理を行い、適宜変更、見直しを行いながら総合戦略に掲げた目標の達成を目指している。進捗管理の中で、担当課による内部検証とあわせ、市民の認知度や満足度を把握し、次年度以降の戦略に反映させることを目的としている。

## 2. 調査対象

山鹿市在住の市民を無作為に抽出した 3,000 人

## 3. 調査事項

- (1) ご自身の現在の状況について（問1～問5）
- (2) 山鹿市の現状について（問6～問9）
- (3) 人口政策について（問10～問11）
- (4) 経済政策について（問12～問13）
- (5) 山鹿市総合計画について（問14～問15）
- (6) 山鹿市に対する考えについて（問16～問20）

## 4. 調査期間

令和4年1月6日（木）～1月28日（金）

## 5. 調査方法

郵送による調査票の配布

郵送またはインターネットによる回答

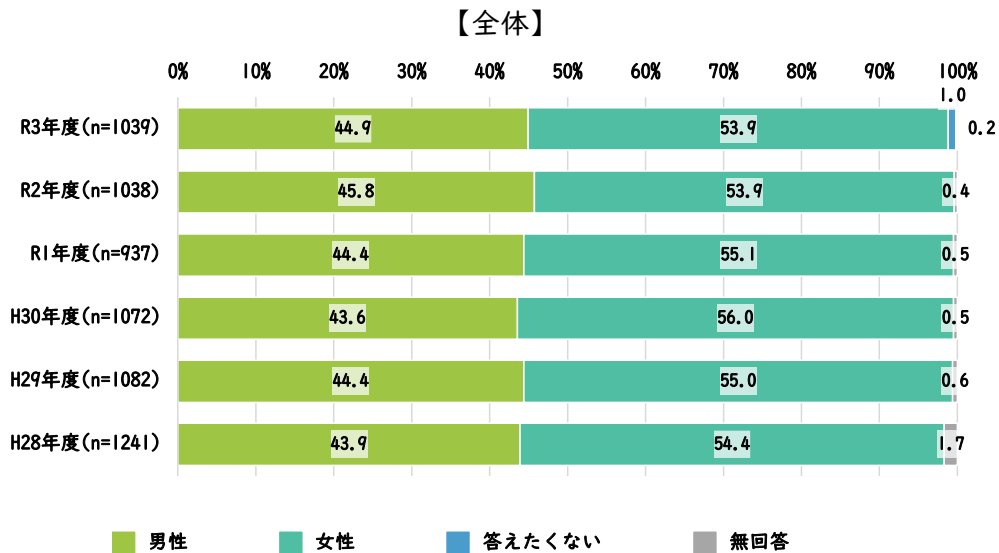
## 6. 回収状況

回答方法	配布部数	回収数	回収率
郵送	3,000	817	27.2%
インターネット		222	7.4%
計		1,039	34.6%

## Ⅱ. 回答者ご自身の現状

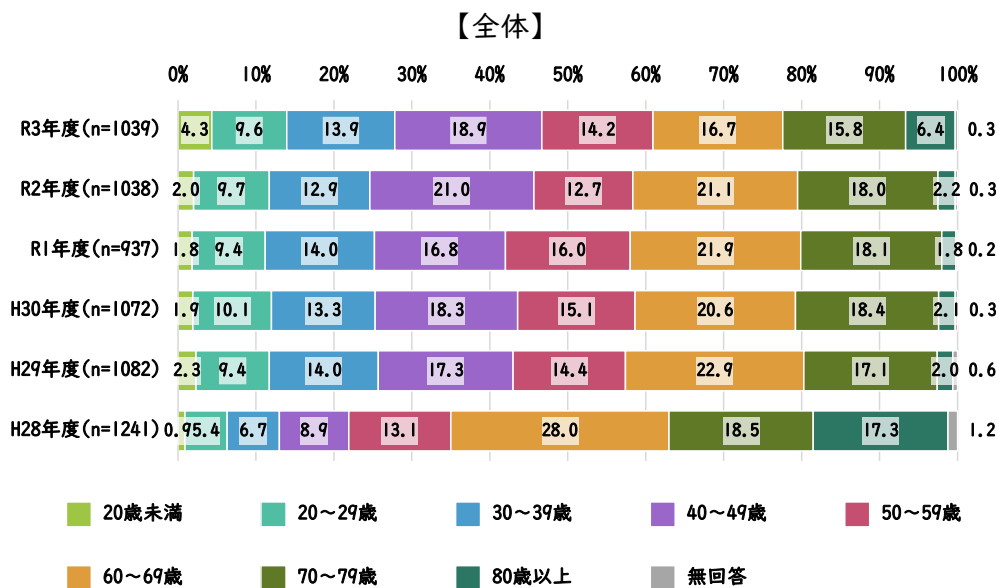
### 問1 性別について

- 回答者の性別割合は、「男性」が44.9%、「女性」が53.9%となっている。



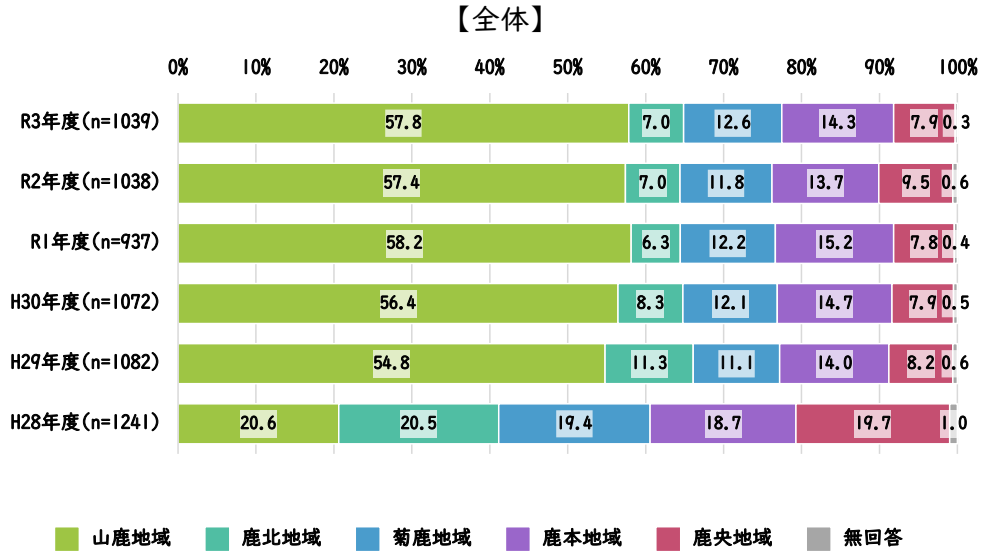
### 問2 年齢について

- 年代別では、「40代」が18.9%と最も高く、「50代以降」の合計が53.1%と半数を超えている。

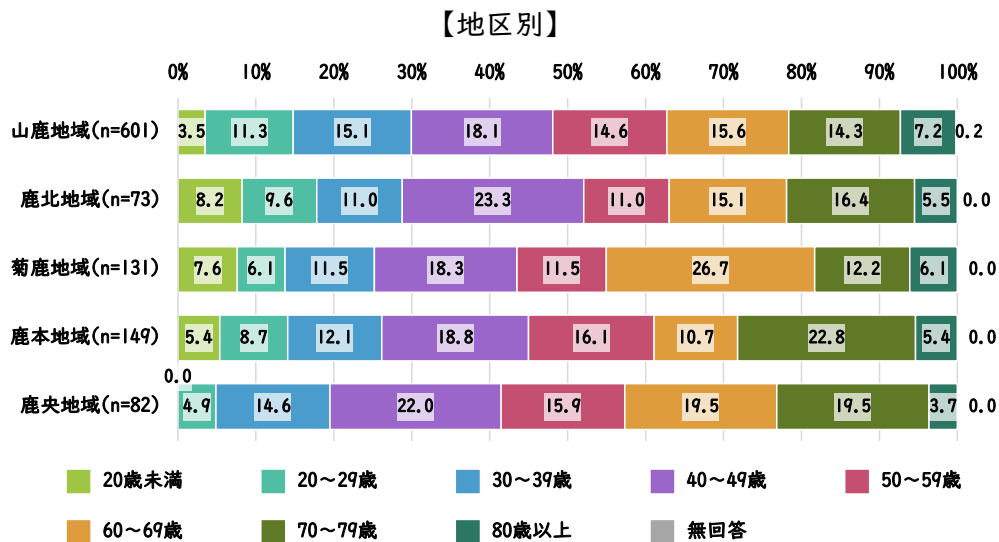


### 問3 お住まいの地域について

- 地域別では、「山鹿地域」が約6割を占めている。
- 過去調査と比較した地域別構成比は、H29年度以降ほとんど変わらない。

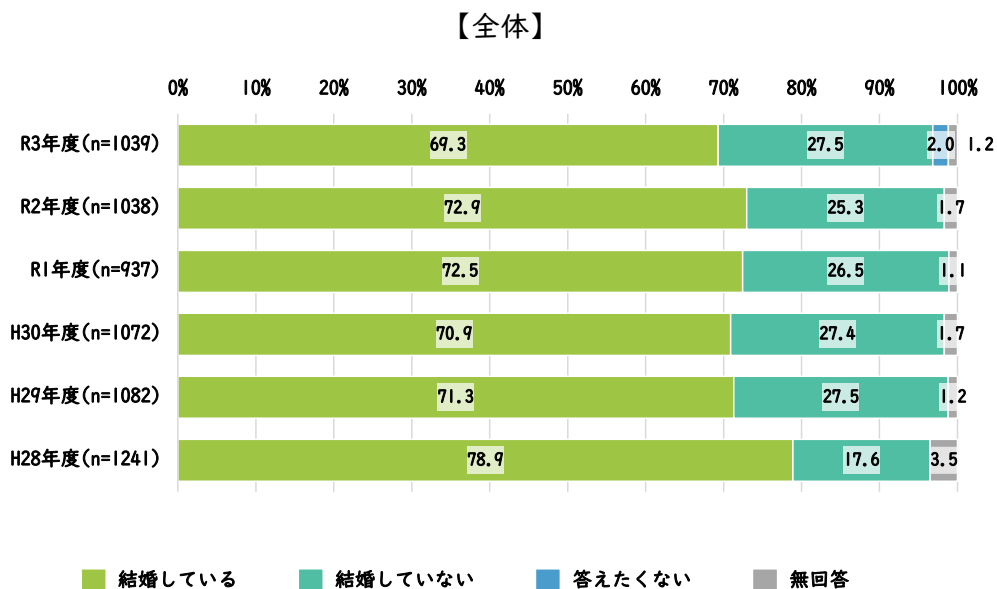


- 地域別年齢構成では、「山鹿地域」「鹿北地域」「鹿央地域」では40代、「菊鹿地域」では60代、「鹿本地域」では70代が最も高くなっている。
- 「鹿北地域」以外は、50代以降の合計が5割を超えて高くなっている。



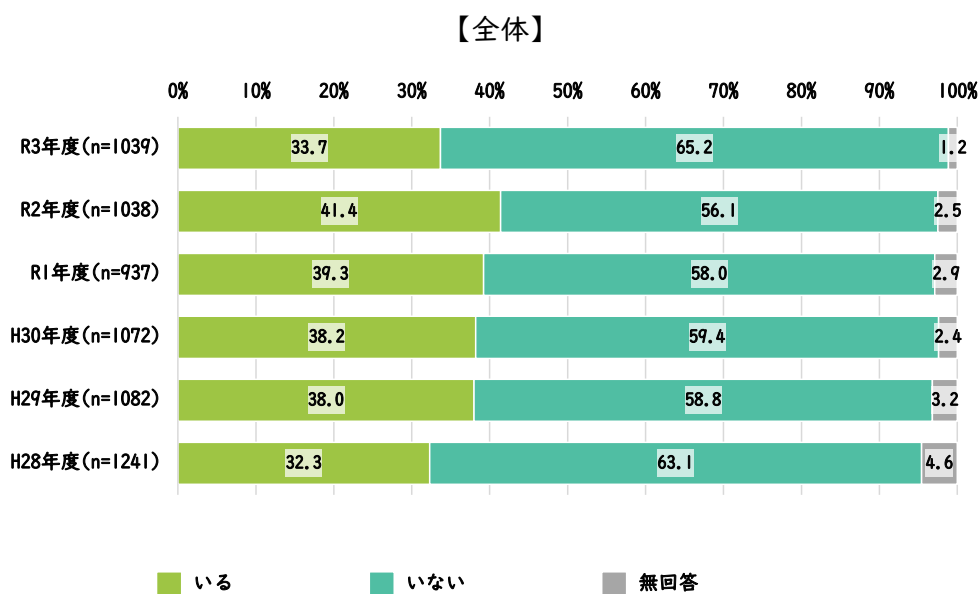
#### 問4 結婚について

- 結婚の有無については、「結婚している」が69.3%、「結婚していない」が27.5%、「答えたくない」が2.0%となっている。



#### 問5 同居されているお子様（18歳未満）について

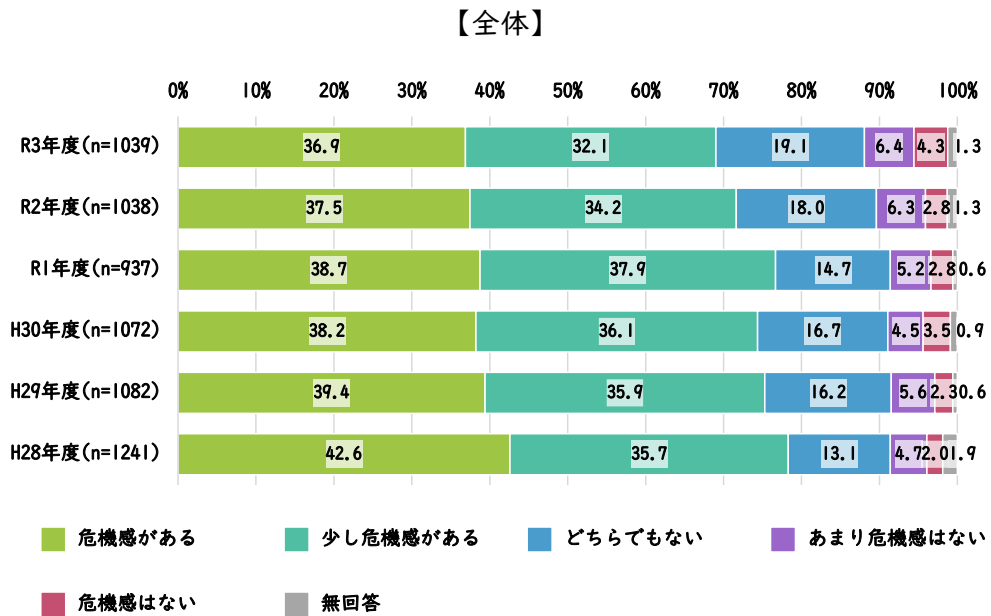
- 同居する子どもの有無については、「いる」が33.7%、「いない」が65.2%となっている。



### Ⅲ. 山鹿市の現状について

#### 問6 山鹿市の人口減少について

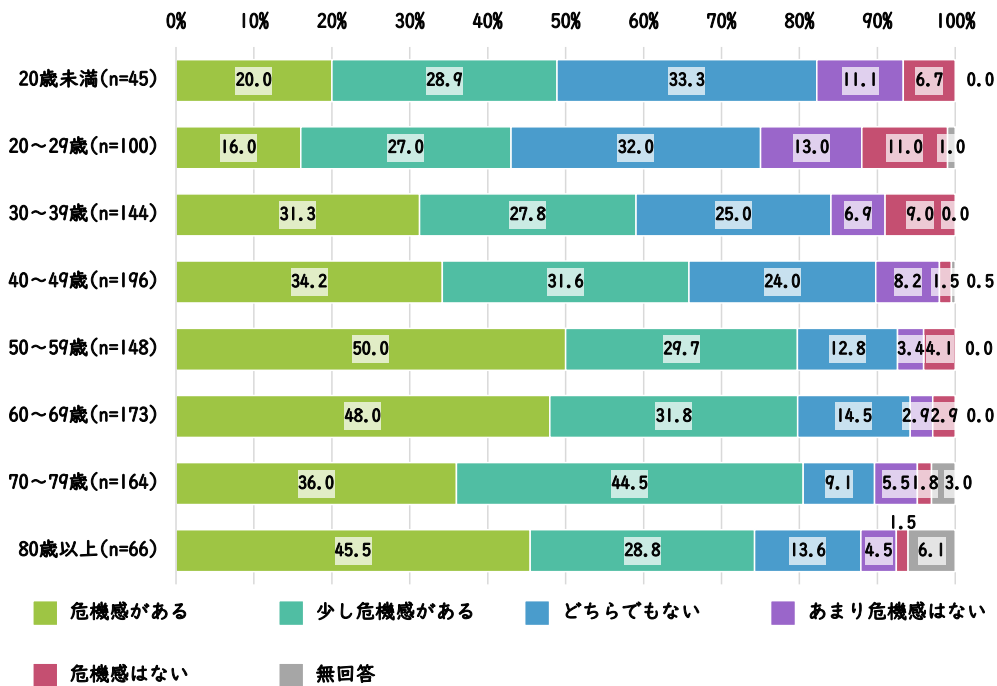
・山鹿市の人口減少については、「危機感がある」が36.9%、「少し危機感がある」が32.1%となっており、約7割が危機感を感じている。



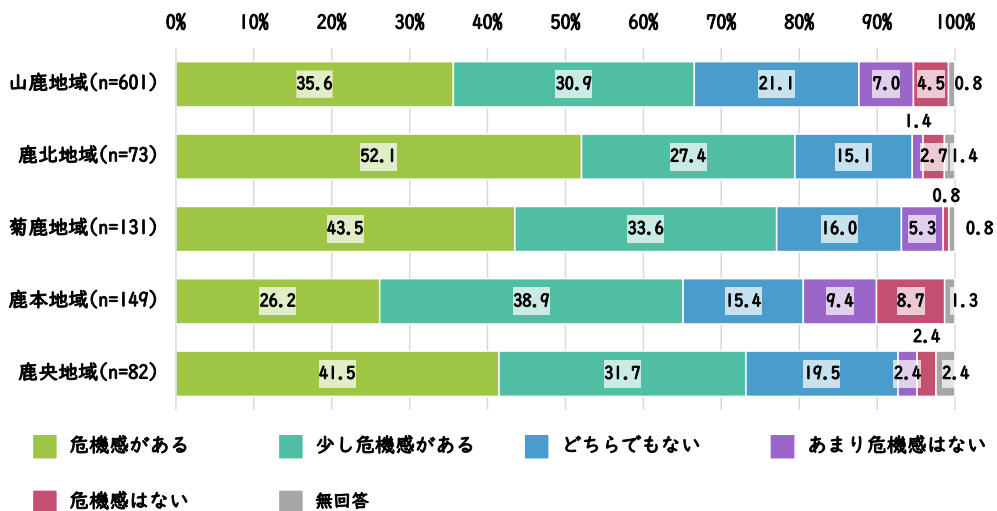


- 山鹿市の人口減少について、年代別では、50代以降で「危機感がある」「少し危機感がある」の合計が7割を超えており、年齢が高くなるほど危機意識が高くなっている。
- 地区別では、鹿北地域で「危機感がある」が52.1%と最も高く、「危機感がある」「少し危機感がある」を合わせても鹿北地域が79.5%と最も高くなっている。

【年代別】

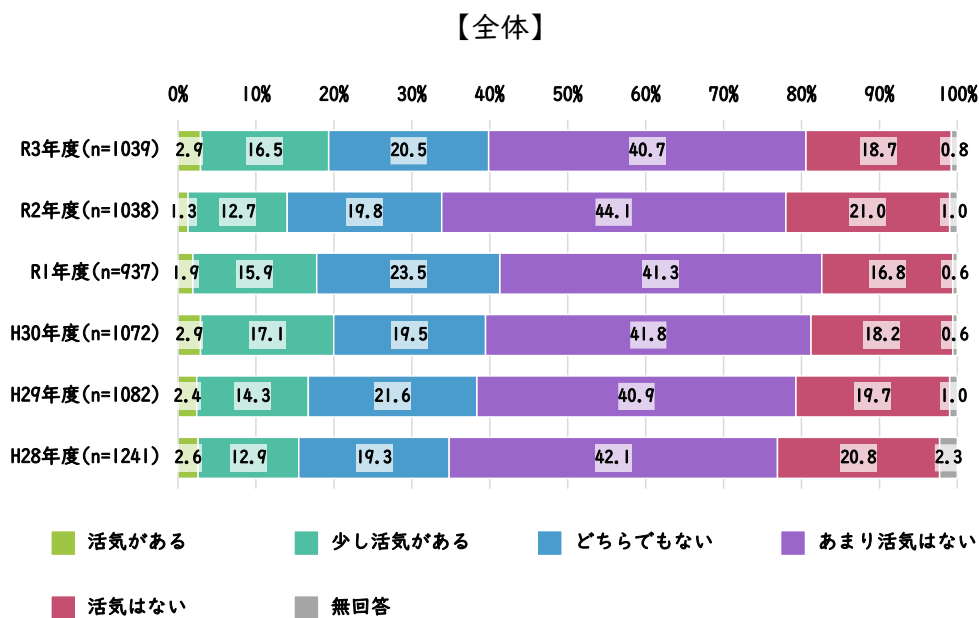


【地区別】



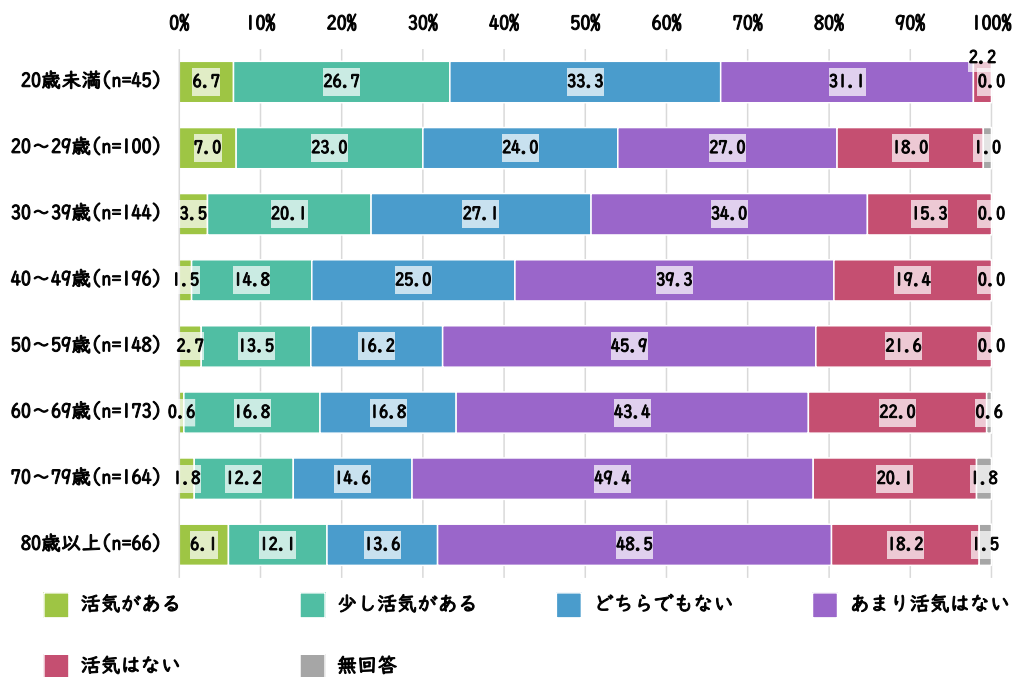
問7 山鹿市の元気度について

山鹿市の元気度については、「元気がある」「少し元気がある」の合計 19.4%に対し、「元気はない」「あまり元気はない」の合計は 59.4%となっており、元気がないと感じている割合が5割を超えて高くなっている。

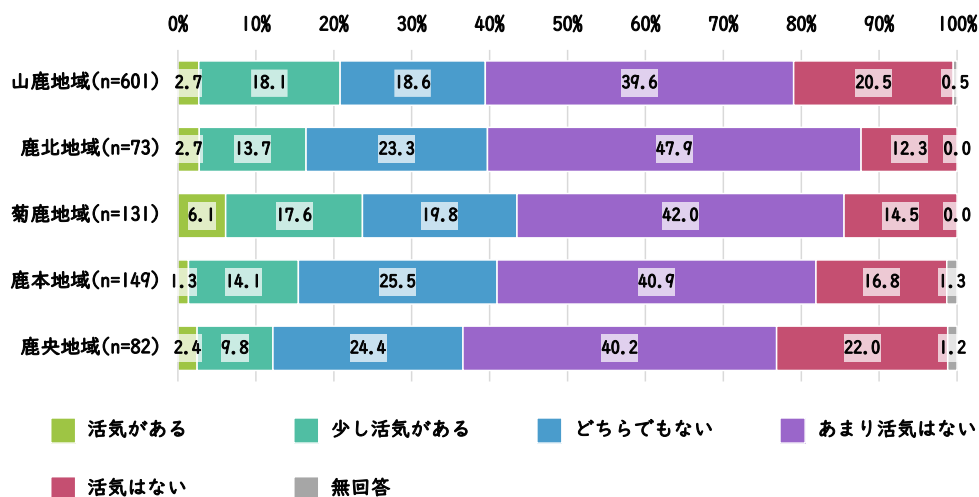


- 山鹿市の元気度について、年代別では「元気はない」「あまり元気はない」の合計が50代以降で6割を超えて高くなっている。
- 年代が下がるにつれて「元気がある」「少し元気がある」の割合が高くなっている。
- 地区別では、どの地域も「元気はない」「あまり元気はない」の割合が5割を超えて高くなっているが、菊鹿地域では「元気がある」「少し元気がある」の合計が23.7%と他の地域に比べやや高くなっている。

【年代別】



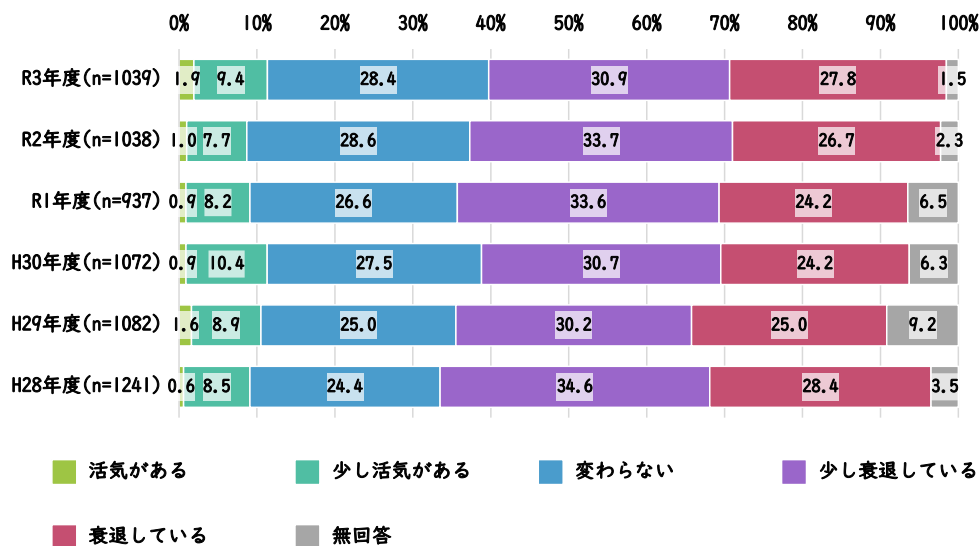
【地区別】



問8 山鹿市の基幹産業である農林業について現状をどう思われますか

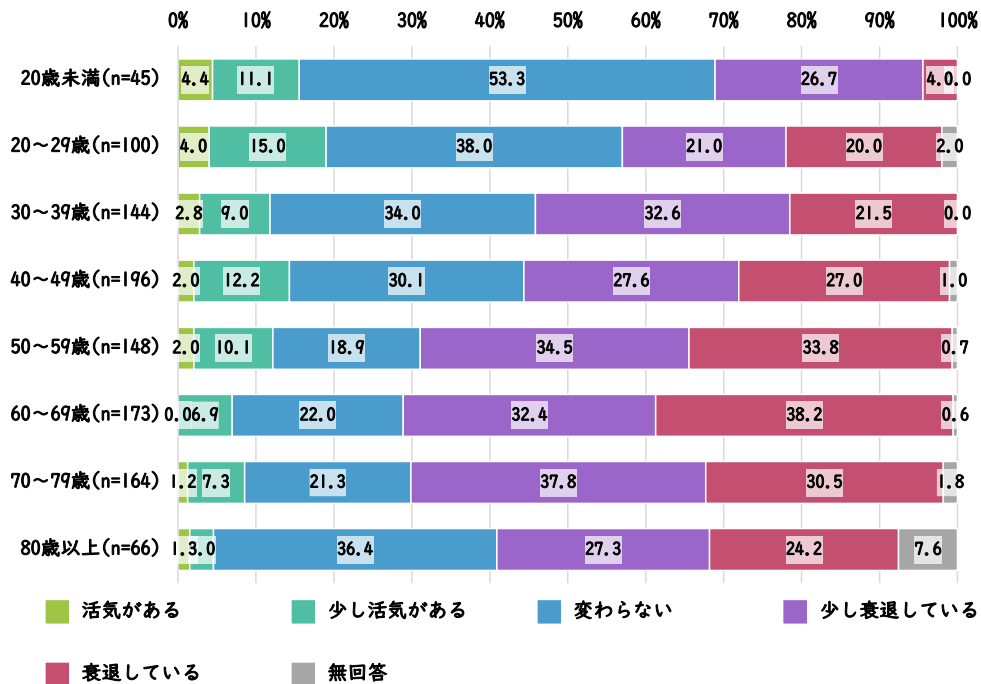
・農林業の現状については、「活気がある」「少し活気がある」の合計は 11.3%で、「衰退している」「少し衰退している」の合計は 58.7%となっている。

【全体】

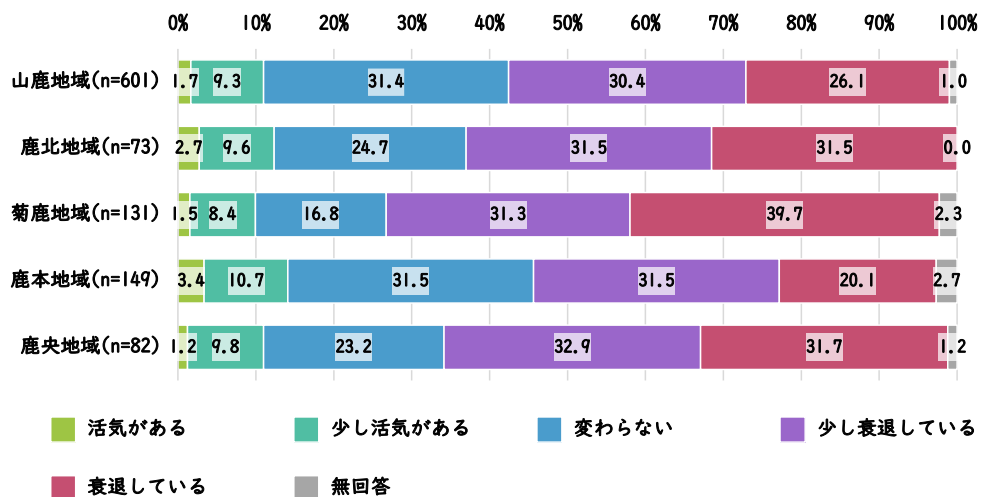


- 農林業の現状について、年代別では、「衰退している」「少し衰退している」の合計は30代以降のすべての年代で5割を超えて高くなっている。
- 地区別では、「衰退している」「少し衰退している」の合計がどの地域も5割を超えて高くなっているが、菊鹿地域では7割を超えており、他の地域に比べて高くなっている。

【年代別】

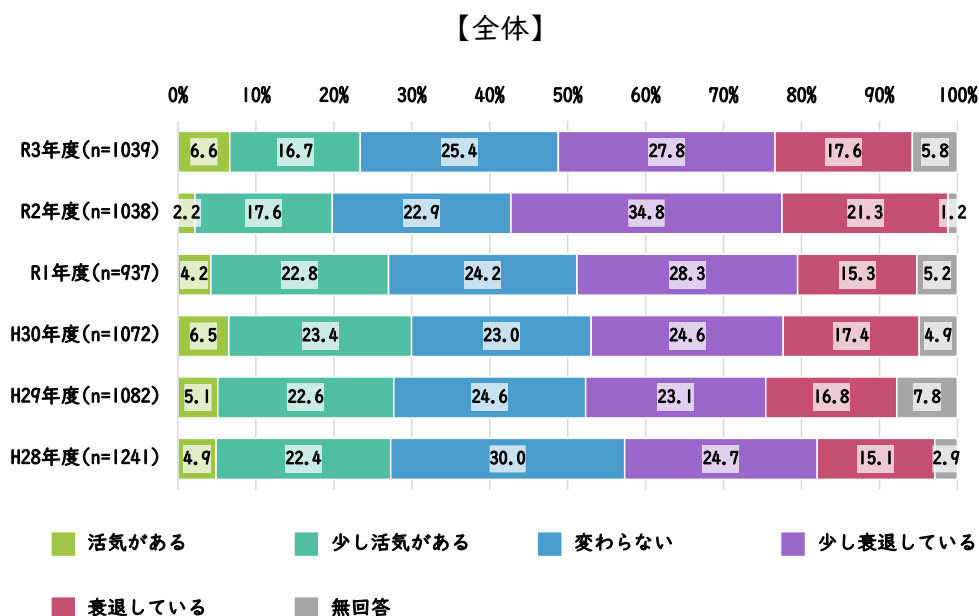


【地区別】

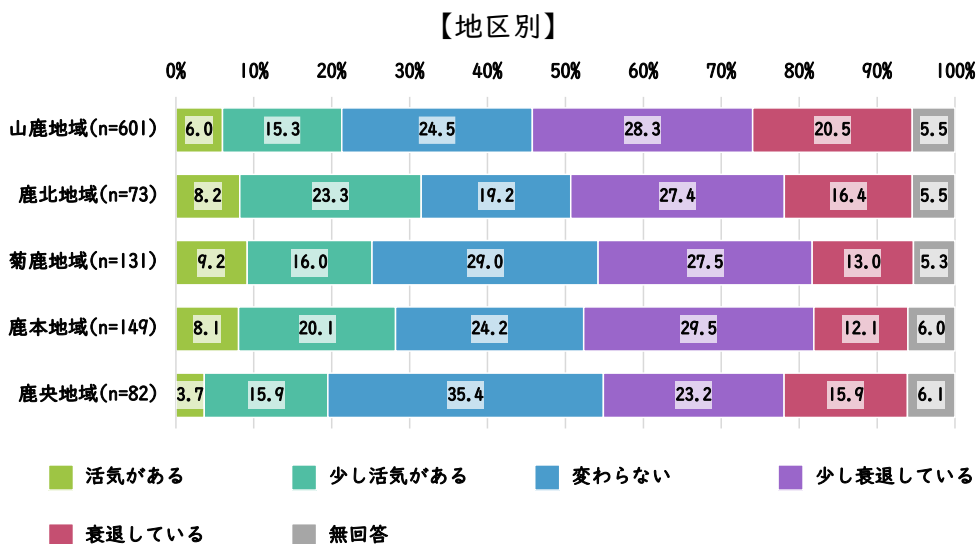
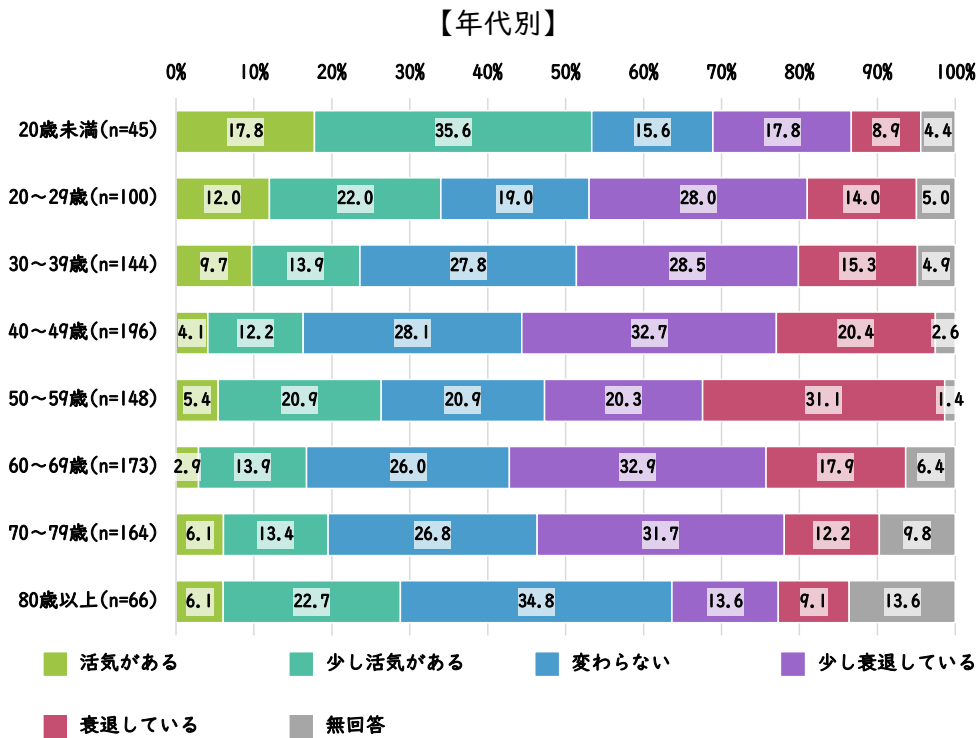


問9 山鹿市が力を入れている山鹿灯籠などの観光産業について現状をどう思われますか

- 観光産業の現状については、「活気がある」「少し活気がある」の合計は 23.3%、「衰退している」「少し衰退している」の合計は 45.4%となっている。
- R2 年度との比較では、「衰退している」「少し衰退している」の合計が 10.7 ポイント低くなっている。



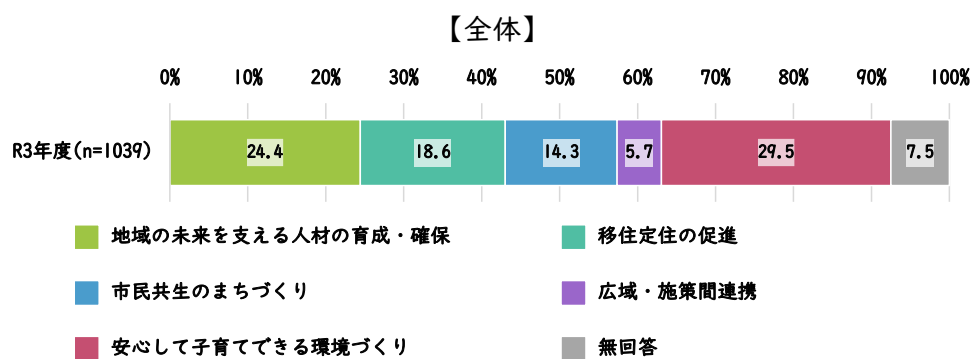
- 観光産業の現状について、年代別では、20歳未満で「活気がある」「少し活気がある」の合計が53.4%、40代、50代、60代では「衰退している」「少し衰退している」の合計が5割を超えており、他の年代より高くなっている。
- 地区別では、鹿北地域で「活気がある」「少し活気がある」の合計が31.5%と他の地域に比べて高くなっている。山鹿地域では「衰退している」「少し衰退している」の合計が48.8%と最も高くなっている。



## IV. 人口政策について

問10 山鹿市総合戦略における、人口政策でもっとも充実して欲しい取組について

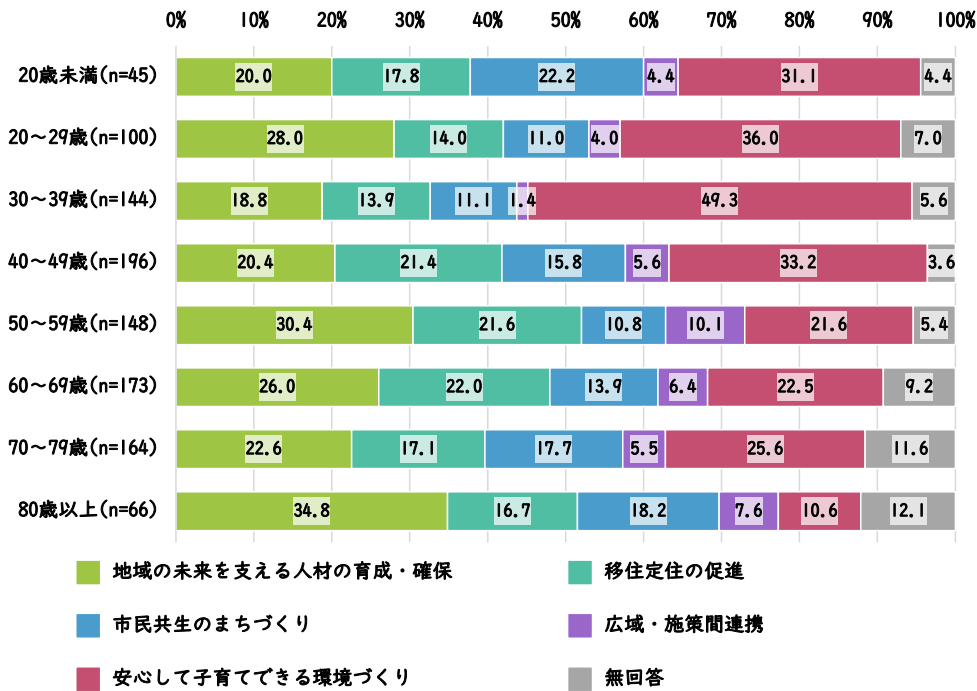
- 人口政策で充実して欲しい取組については、「安心して子育てできる環境づくり」が29.5%と最も高く、次いで「地域の未来を支える人材の育成・確保」24.4%、移住定住の促進18.6%となっている。



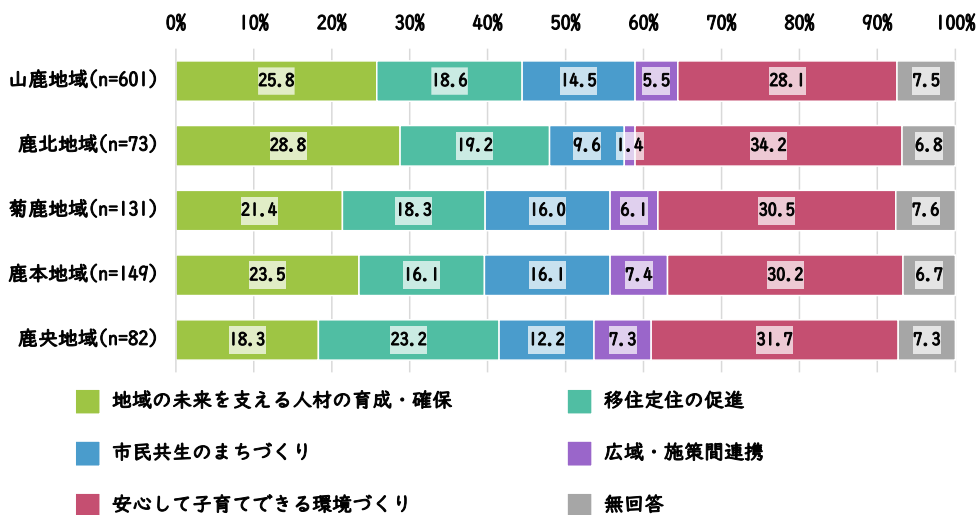


- 人口政策で充実して欲しい取組について、年代別では、40代以下、70代では「安心して子育てできる環境づくり」の割合が、50代、60代、80歳以上では「地域の未来を支える人材の育成・確保」の割合が最も高くなっている。
- 地区別では、どの地域も「安心して子育てできる環境づくり」の割合が最も高くなっている。

### 【年代別】

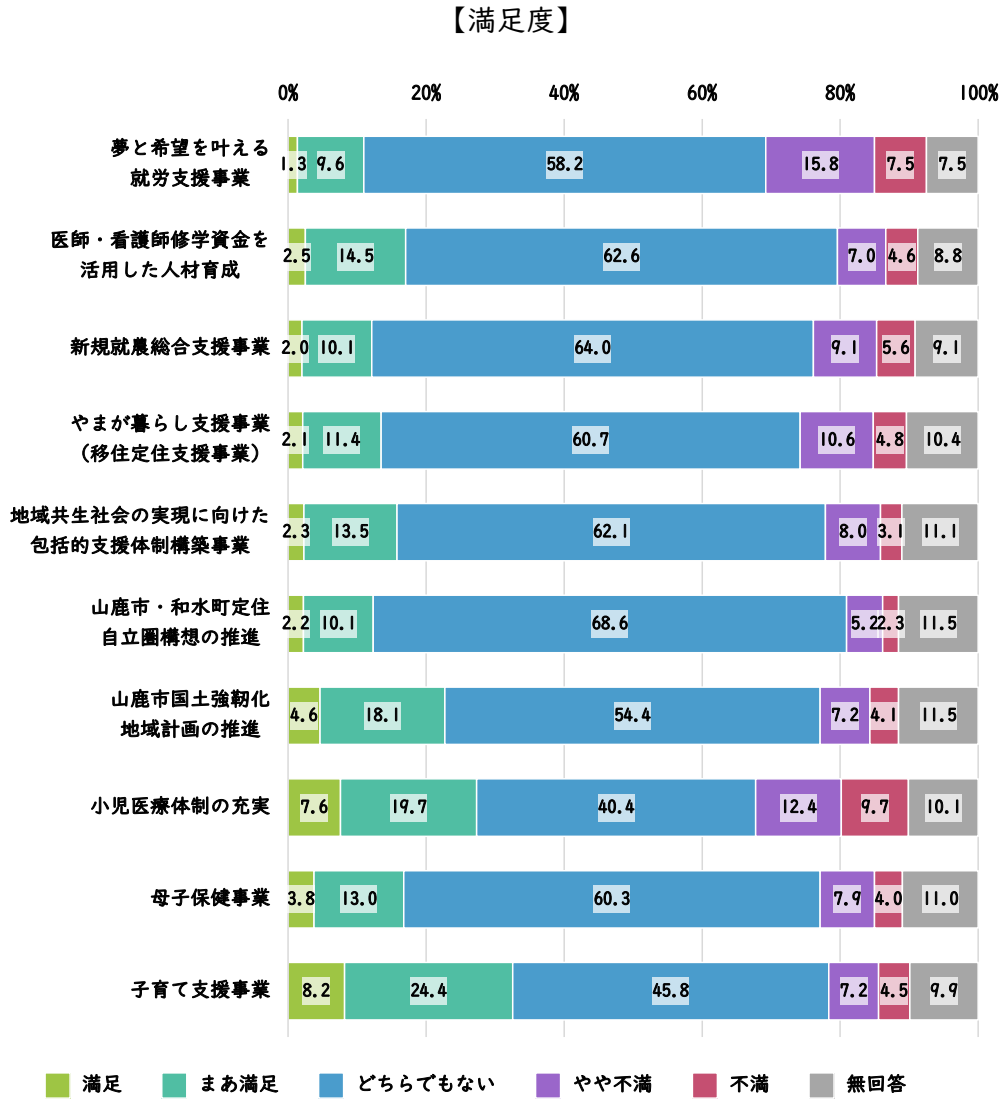


### 【地区別】



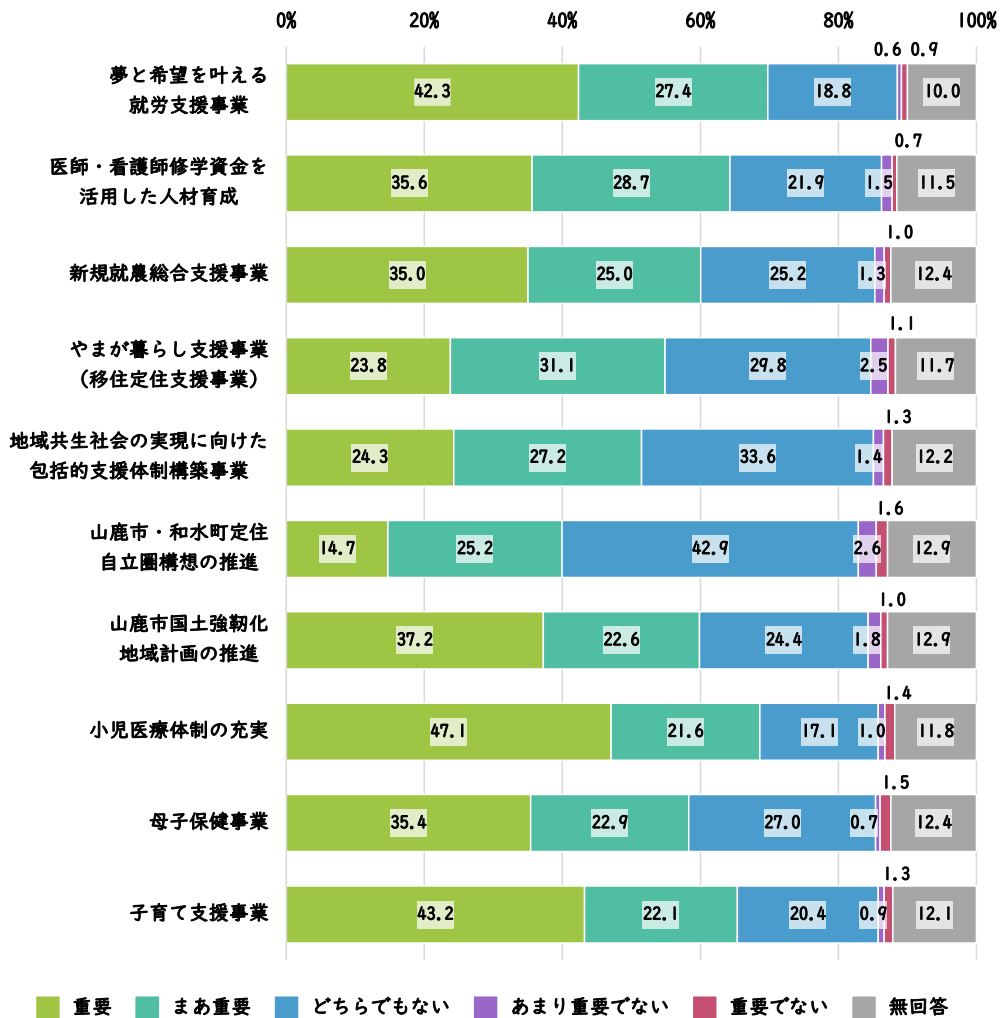
問11 山鹿市で取り組んでいる人口政策の満足度と重要度について

- 人口政策の満足度について、「満足」「まあ満足」の合計が最も高いのは「子育て支援事業」32.6%、「やや不満」「不満」の合計が最も高いのは「夢と希望を叶える就労支援事業」23.3%となっている。



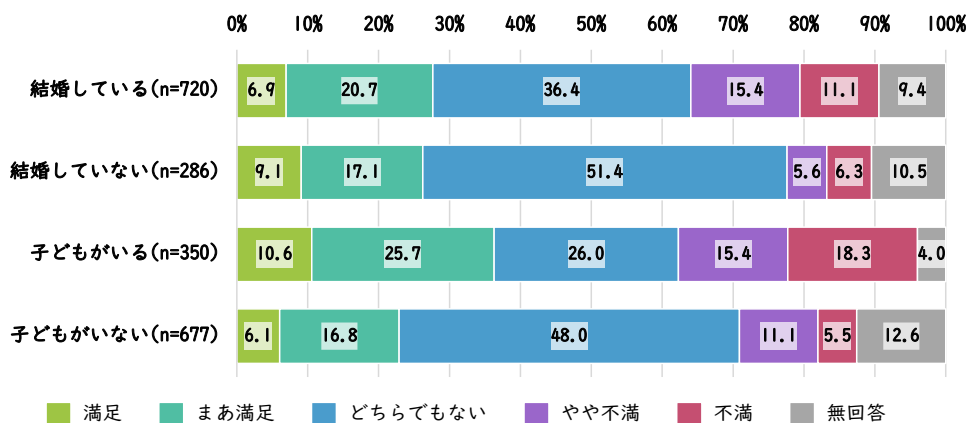
• 人口政策の重要度について、山鹿市・和水町定住自立圏構想の推進以外は「重要」「まあ重要」の合計が5割を超えて高くなっている。その中でも「夢と希望を叶える就労支援事業」が69.7%と最も高く、次いで「小児医療体制の充実」68.7%、「子育て支援事業」65.3%となっている。

【重要度】



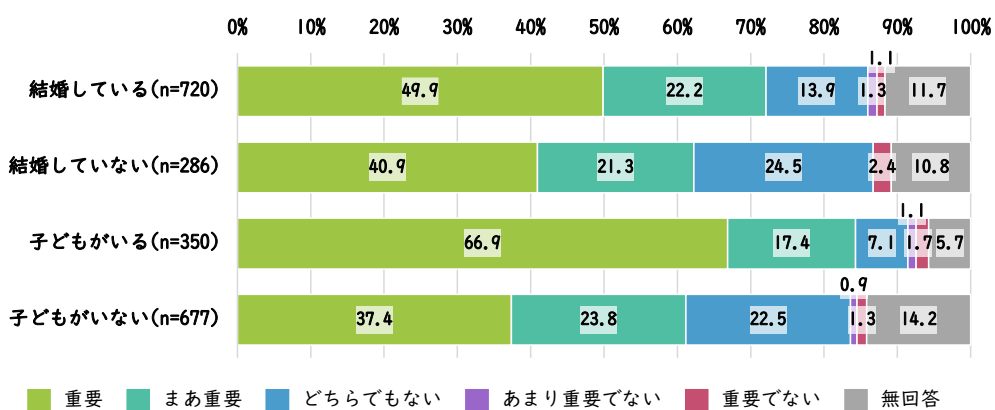
- 小児医療体制の充実の満足度について、「子どもがいる」では「満足」「まあ満足」の合計が36.3%、「やや不満」「不満」の合計が33.7%と満足・不満足のどちらの割合においても最も高くなっている。「結婚している」「結婚していない」「子どもがいない」では「どちらでもない」が最も高くなっている。

【小児医療体制の充実×満足度】

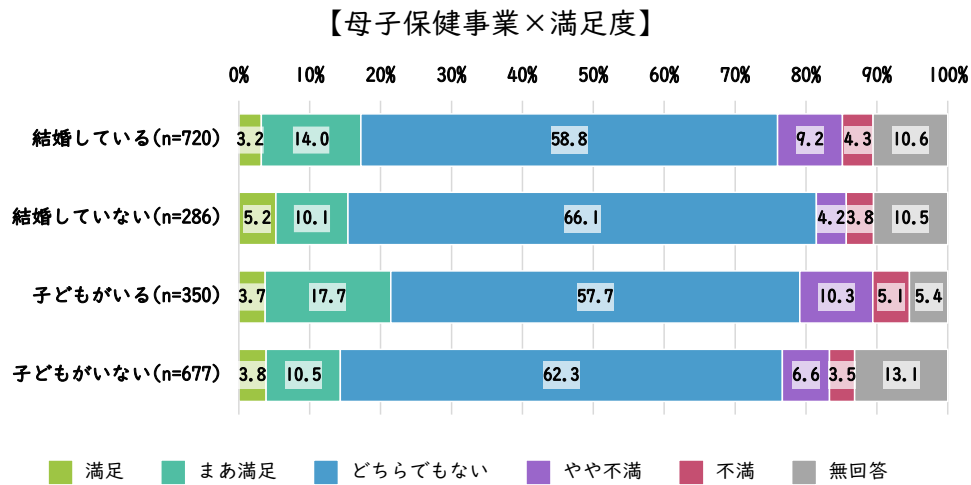


- 小児医療体制の充実の重要度について、どの回答者も「重要」「まあ重要」の合計が最も高くなっているが、特に「子どもがいる」では84.3%と8割を超えて高くなっている。

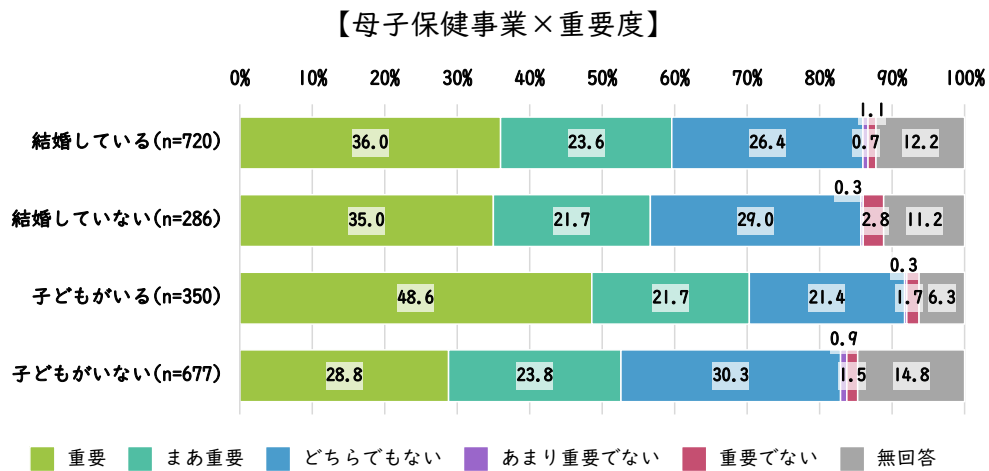
【小児医療体制の充実×重要度】



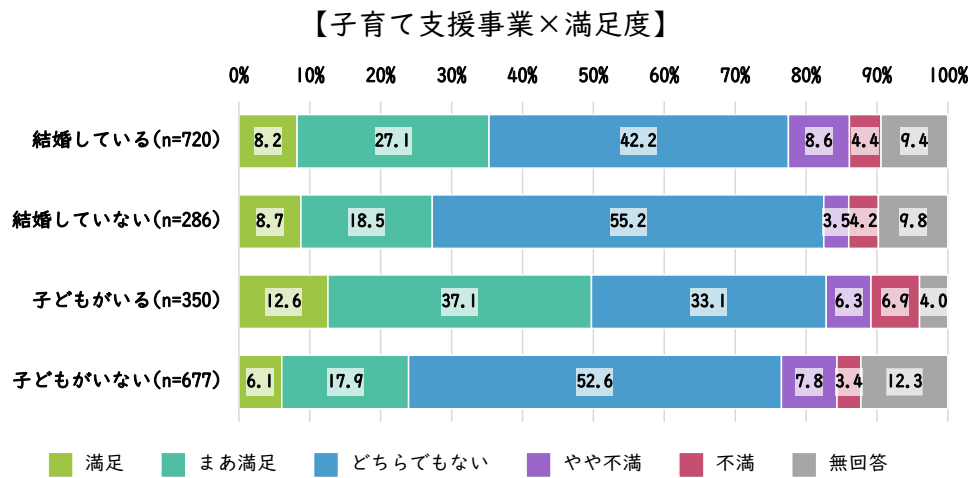
• 母子保健事業の満足度について、どの回答者も「どちらでもない」が最も高くなっている。



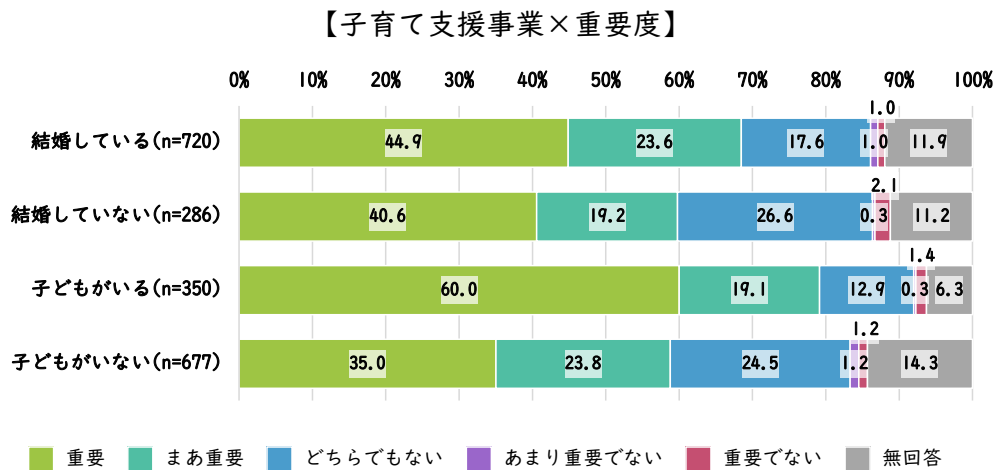
• 母子保健事業の重要度について、どの回答者も「重要」「まあ重要」の合計が最も高くなっているが、特に「子どもがいる」では70.3%と7割を超えて高くなっている。

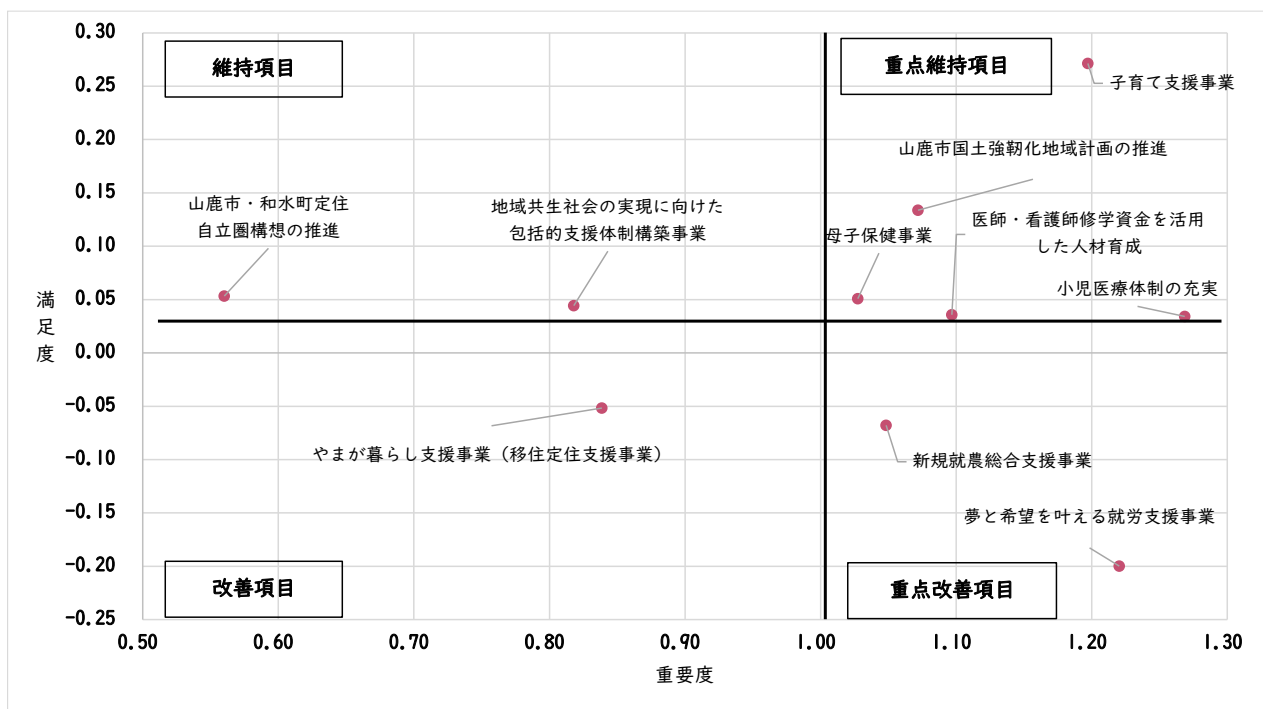


- 子育て支援事業の満足度について、「満足」「まあ満足」の合計が最も高いのは「子どもがいる」49.7%となっており、「結婚している」「結婚していない」「子どもがない」では「どちらでもない」が最も高くなっている。



- 子育て支援事業の重要度について、どの回答者も「重要」「まあ重要」の合計が最も高くなっているが、特に「子どもがいる」では79.1%と8割に近い割合で高くなっている。





重要度・満足度の中心線は、全各施策の平均値。

	重要度	満足度
夢と希望を叶える就労支援事業	1.22	-0.20
医師・看護師修学資金を活用した人材育成	1.10	0.04
新規就農総合支援事業	1.05	-0.07
やまが暮らし支援事業（移住定住支援事業）	0.84	-0.05
地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制構築事業	0.82	0.04
山鹿市・和水町定住自立圏構想の推進	0.56	0.05
山鹿市国土強靱化地域計画の推進	1.07	0.13
小児医療体制の充実	1.27	0.03
母子保健事業	1.03	0.05
子育て支援事業	1.20	0.27
平均	1.01	0.03

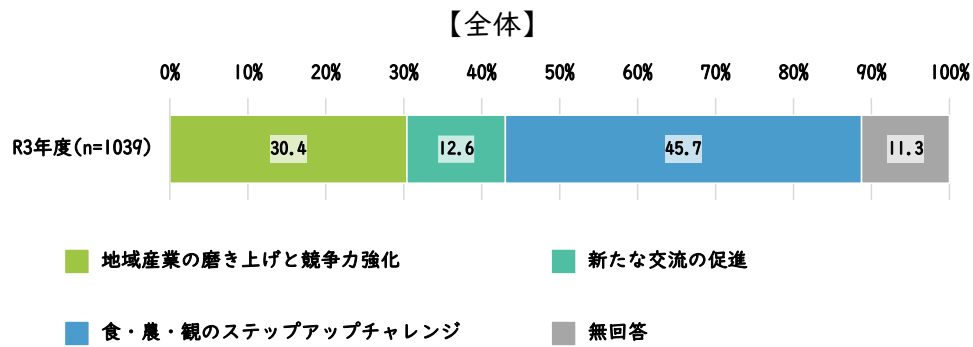
※赤い網掛けは平均よりも高いことを示している。

<b>維持項目</b> 満足度こそ高いものの、重要度は低い項目。当面は現状維持をしていけばいい項目でもある。	<b>重点維持項目</b> 重要度も満足度も高い項目。今後も満足度を下げないために努力を重ねることが重要な項目でもある。
<b>改善項目</b> 満足度と重要度ともに低い項目。満足度が低いため改善の余地はあるが、重要度も低いため優先度は低い。	<b>重点改善項目</b> これは重要度が高いのにも関わらず市民から満足されていない項目。最優先して課題の改善に取り掛かる必要がある。

## V. 経済政策について

### 問12 山鹿市総合戦略における、経済政策でもっとも充実して欲しい取組について

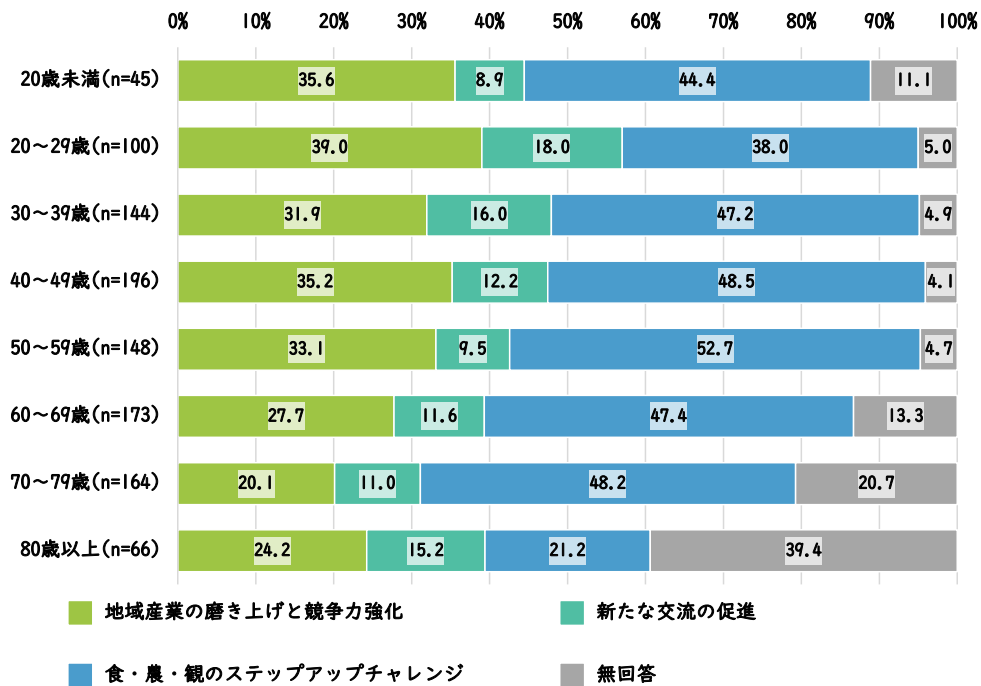
・経済政策で充実して欲しい取組については、「食・農・観のステップアップチャレンジ」の割合が45.7%と最も高く、次いで「地域産業の磨き上げと競争力強化」30.4%、「新たな交流の促進」12.6%となっている。



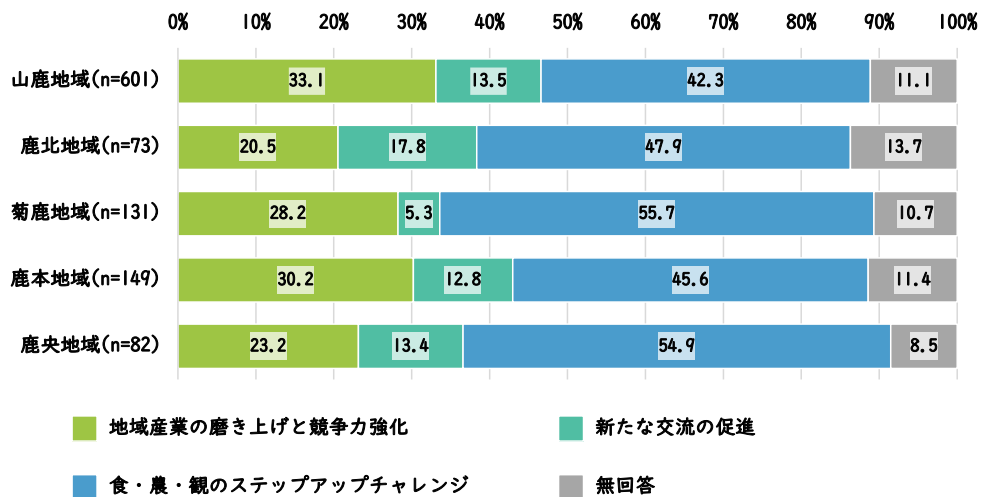


- 経済政策で充実して欲しい取組について、年代別では、50代で「食・農・観のステップアップチャレンジ」の割合が52.7%と他の年代より高くなっている。
- 地区別では、どの地域も「食・農・観のステップアップチャレンジ」の割合が最も高くなっている。

【年代別】

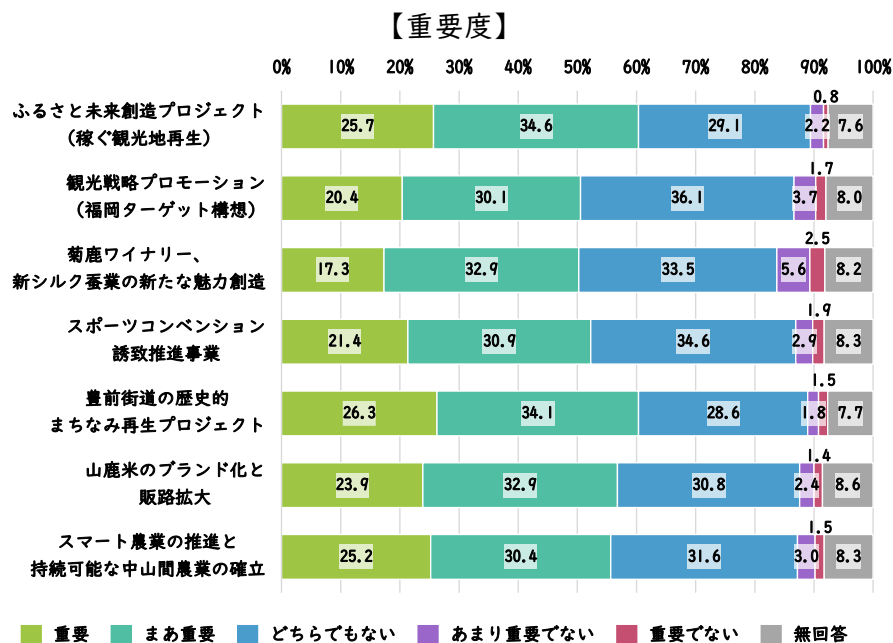
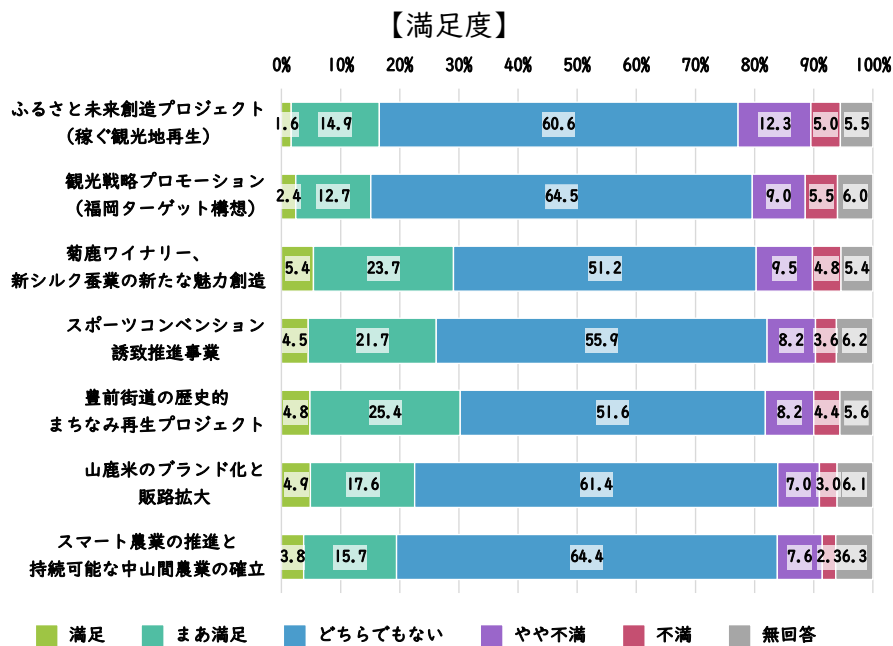


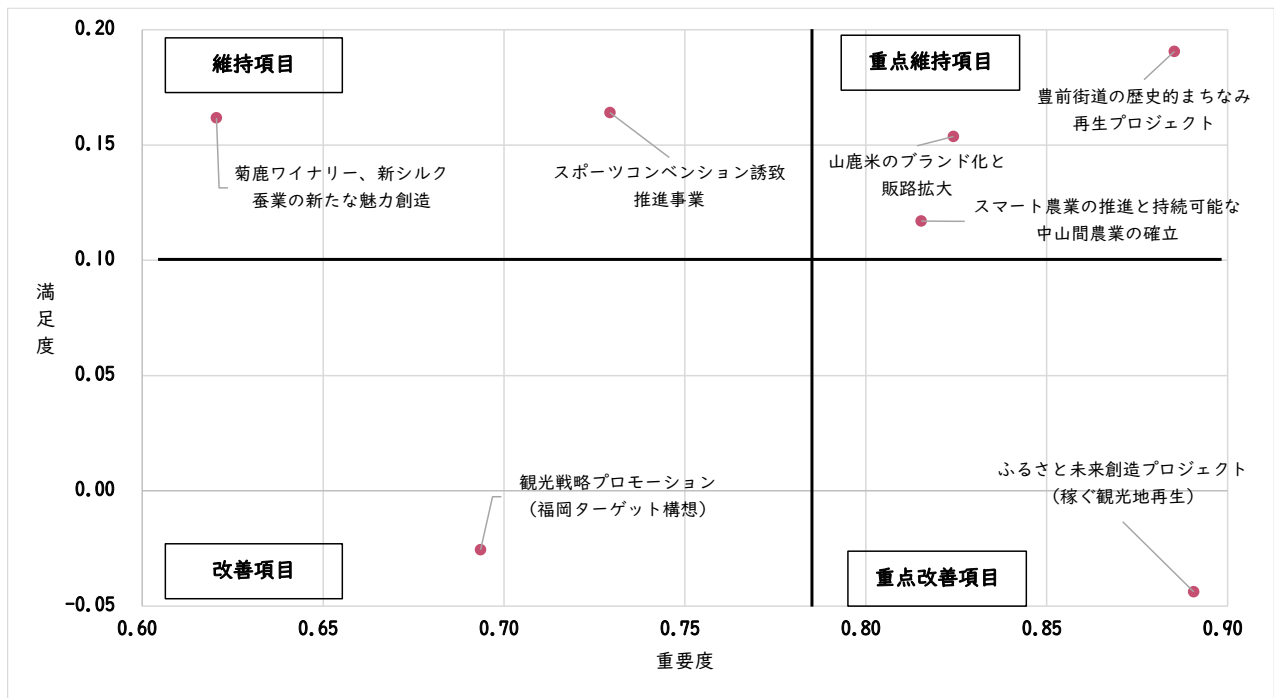
【地区別】



問13 山鹿市で取り組んでいる経済政策の満足度と重要度について

- 経済政策の満足度について、「満足」「まあ満足」の合計が最も高いのは「豊前街道の歴史的まちなみ再生プロジェクト」30.2%、「やや不満」「不満」の合計が最も高いのは「ふるさと未来創造プロジェクト（稼ぐ観光地再生）」17.3%となっている。
- 経済政策の重要度について、どの項目も「重要」「まあ重要」の合計が5割を超えて高くなっているが、その中でも「豊前街道の歴史的まちなみ再生プロジェクト」、「ふるさと未来創造プロジェクト（稼ぐ観光地再生）」は6割を超えて高くなっている。





重要度・満足度の中心線は、全各施策の平均値。

	重要度	満足度
ふるさと未来創造プロジェクト(稼ぐ観光地再生)	0.89	-0.04
観光戦略プロモーション(福岡ターゲット構想)	0.69	-0.03
菊鹿ワイナリー、新シルク蚕業の新たな魅力創造	0.62	0.16
スポーツコンベンション誘致推進事業	0.73	0.16
豊前街道の歴史的まちなみ再生プロジェクト	0.89	0.19
山鹿米のブランド化と販路拡大	0.82	0.15
スマート農業の推進と持続可能な中山間農業の確立	0.82	0.12
平均	0.78	0.10

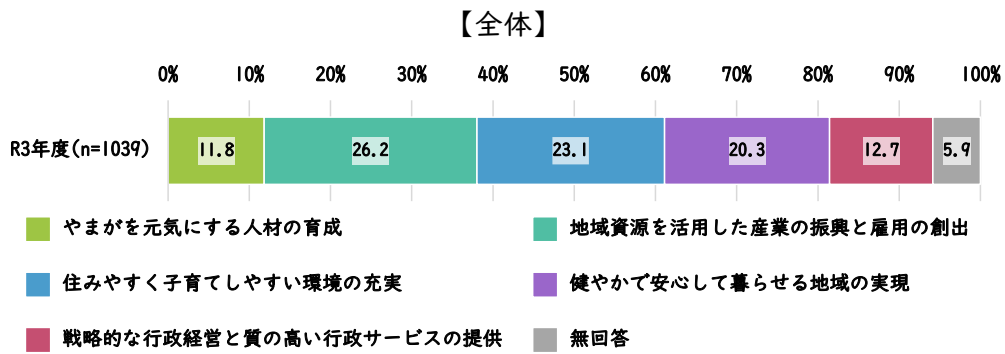
※赤い網掛けは平均よりも高いことを示している。

<b>維持項目</b> 満足度こそ高いものの、重要度は低い項目。当面は現状維持をしていけばいい項目でもある。	<b>重点維持項目</b> 重要度も満足度も高い項目。今後も満足度を下げないために努力を重ねることが重要な項目でもある。
<b>改善項目</b> 満足度と重要度ともに低い項目。満足度が低いため改善の余地はあるが、重要度も低いため優先度は低い。	<b>重点改善項目</b> これは重要度が高いのにも関わらず市民から満足されていない項目。最優先して課題の改善に取り掛かる必要がある。

## VI. 山鹿市総合計画について

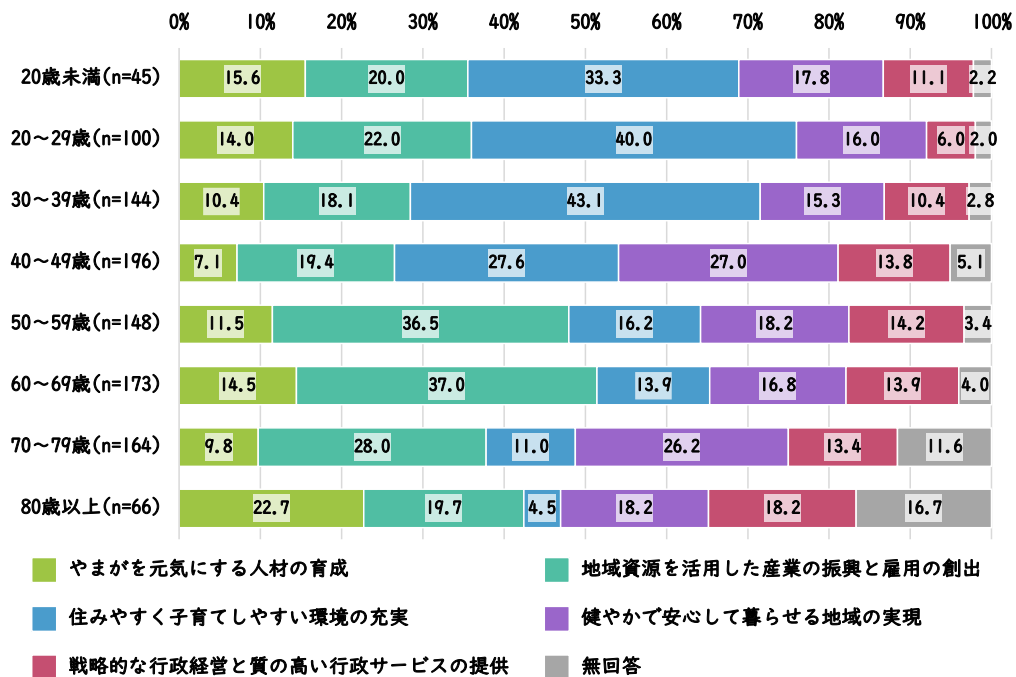
問14 「人輝き飛躍する都市 やまが」実現のために、もっとも重要と思われるものについて

- 将来都市像実現のために重要と思うものについては、「地域資源を活用した産業の振興と雇用の創出」の割合が26.2%と最も高く、次いで「住みやすく子育てしやすい環境の充実」23.1%、「健やかで安心して暮らせる地域の実現」20.3%となっている。

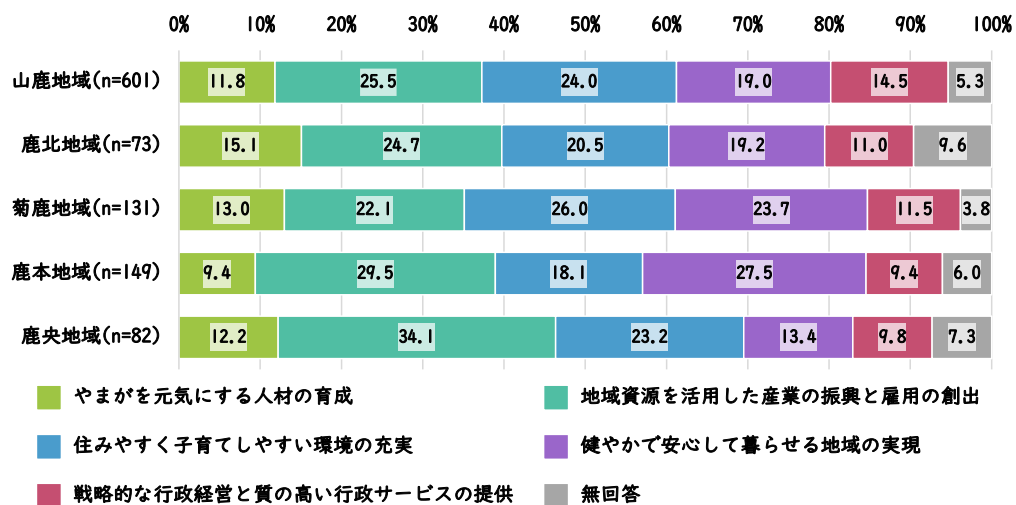


- 将来都市像実現のために重要と思うものについて、年代別では、40代までは「住みやすく子育てしやすい環境の充実」、50代から70代までは「地域資源を活用した産業の振興と雇用の創出」、80歳以上では「やまがを元気にする人材の育成」の割合が最も高くなっている。
- 地区別では、菊鹿地域で「住みやすく子育てしやすい環境の充実」が26.0%と最も高く、それ以外の地域では「地域資源を活用した産業の振興と雇用の創出」の割合が最も高くなっている。

### 【年代別】

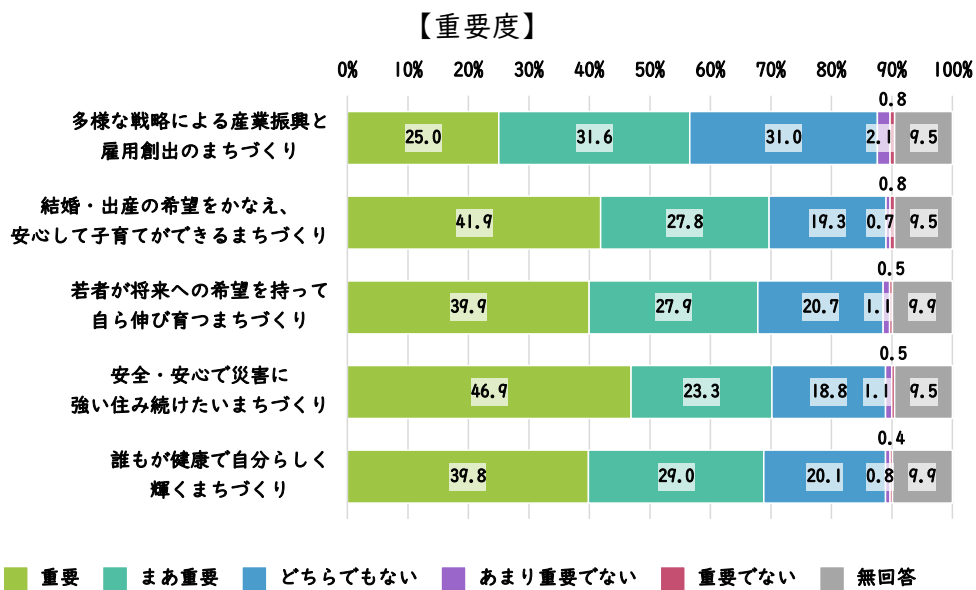
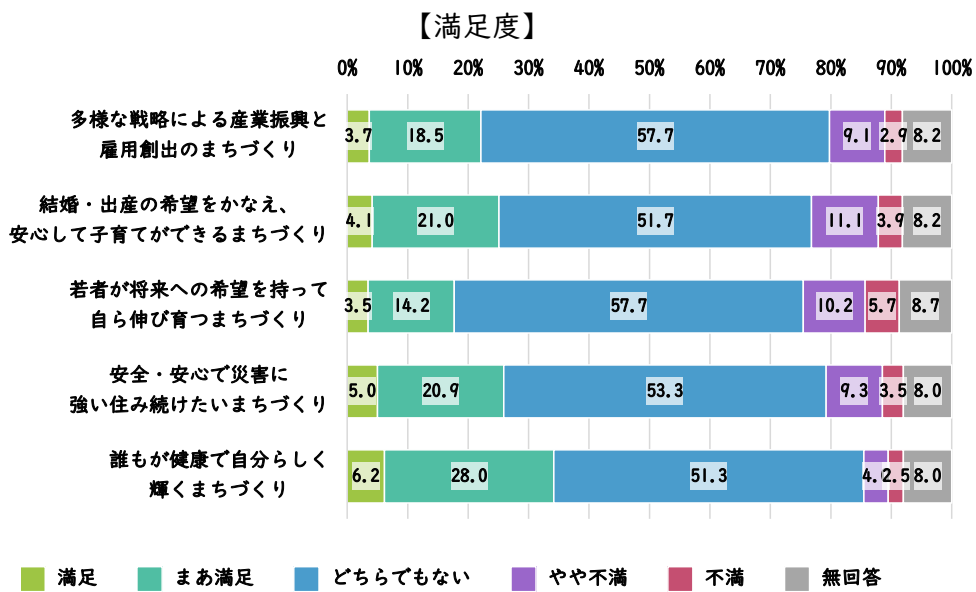


### 【地区別】



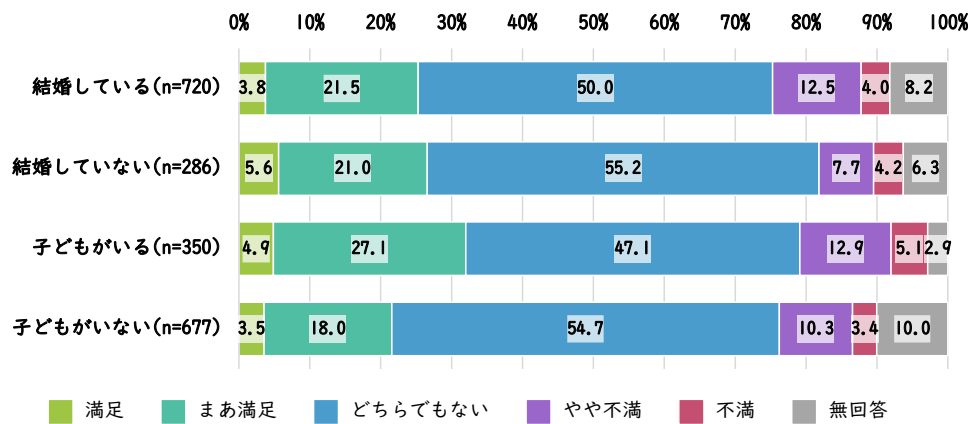
問15 山鹿市で取り組んでいる山鹿市総合計画の先導施策の満足度と重要度について

- 総合計画の先導施策の満足度について、「満足」「まあ満足」の合計が最も高いのは「誰もが健康で自分らしく輝くまちづくり」34.2%、「やや不満」「不満」の合計が最も高いのは「若者が将来への希望を持って自ら伸び育つまちづくり」15.9%となっている。
- 重要度について、どの項目も「重要」「まあ重要」の合計が5割を超えて高くなっているが、その中でも「安全・安心で災害に強い住み続けたいまちづくり」が70.2%と7割を超えて高くなっている。



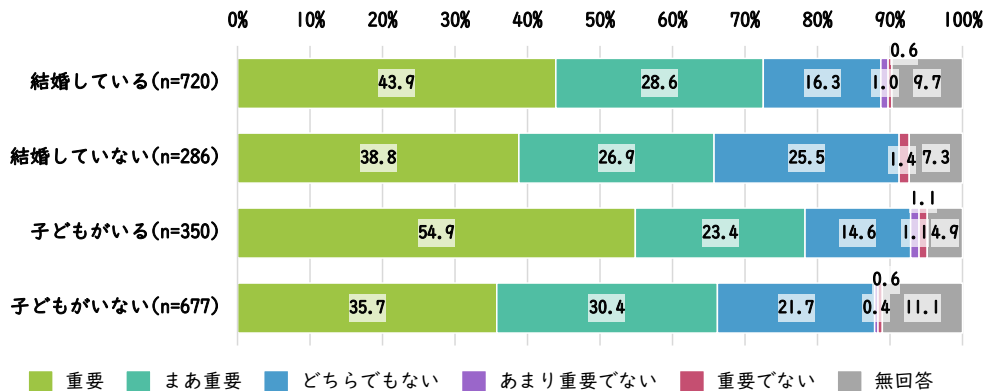
- 結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくりの満足度について、どの回答者も「どちらでもない」が最も高くなっている。

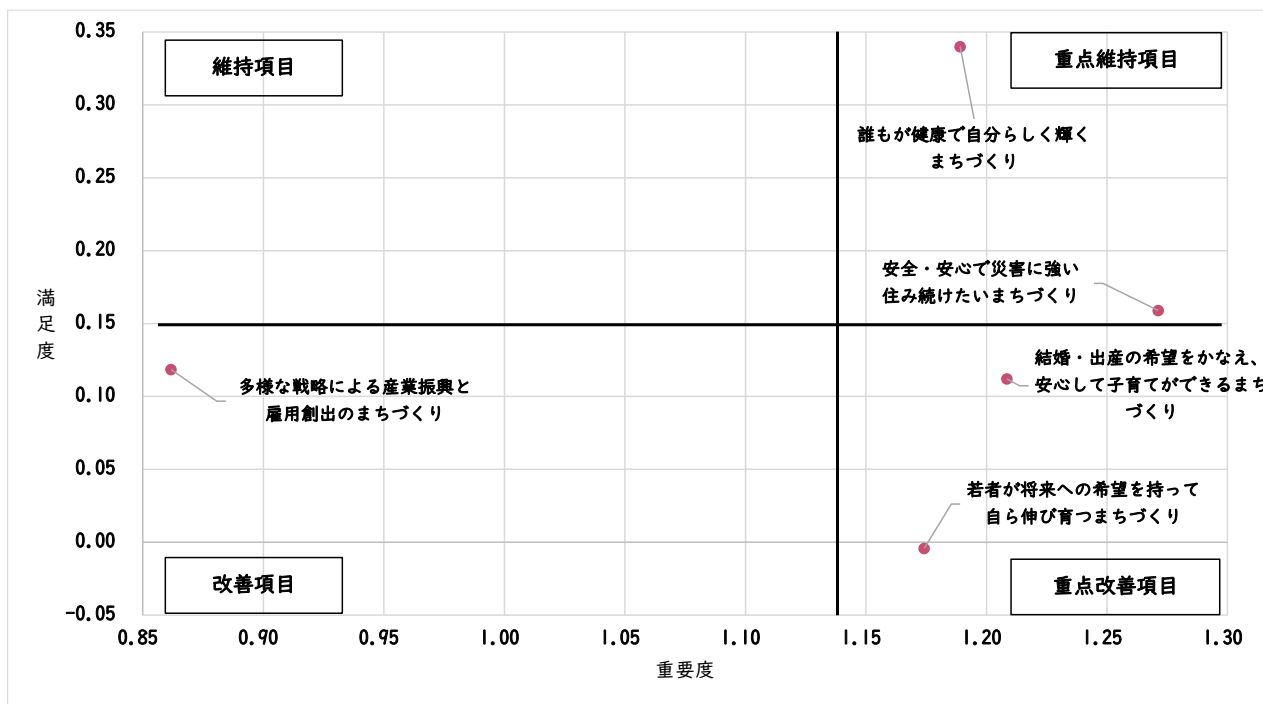
【結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくり×満足度】



- 結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくりの重要度について、どの回答者も「重要」「まあ重要」の合計が最も高くなっているが、特に「結婚している」「子どもがいる」では7割を超えて高くなっている。

【結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくり×重要度】





重要度・満足度の中心線は、全各施策の平均値。

	重要度	満足度
多様な戦略による産業振興と雇用創出のまちづくり	0.86	0.12
結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくり	1.21	0.11
若者が将来への希望を持って自ら伸び育つまちづくり	1.17	0.00
安全・安心で災害に強い住み続けたいまちづくり	1.27	0.16
誰もが健康で自分らしく輝くまちづくり	1.19	0.34
平均	1.14	0.15

※赤い網掛けは平均よりも高いことを示している。

<b>維持項目</b> 満足度こそ高いものの、重要度は低い項目。当面は現状維持をしていけばいい項目でもある。	<b>重点維持項目</b> 重要度も満足度も高い項目。今後も満足度を下げないために努力を重ねることが重要な項目でもある。
<b>改善項目</b> 満足度と重要度ともに低い項目。満足度が低いため改善の余地はあるが、重要度も低いため優先度は低い。	<b>重点改善項目</b> これは重要度が高いのにも関わらず市民から満足されていない項目。最優先して課題の改善に取り掛かる必要がある。

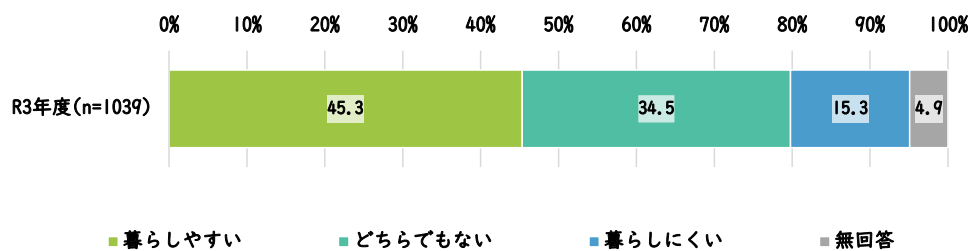


## Ⅶ. 山鹿市に対する考えについて

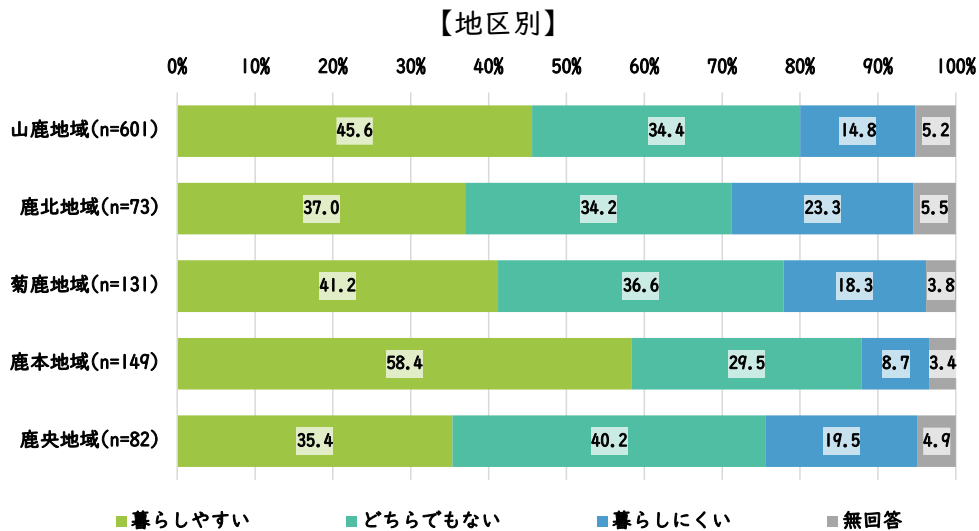
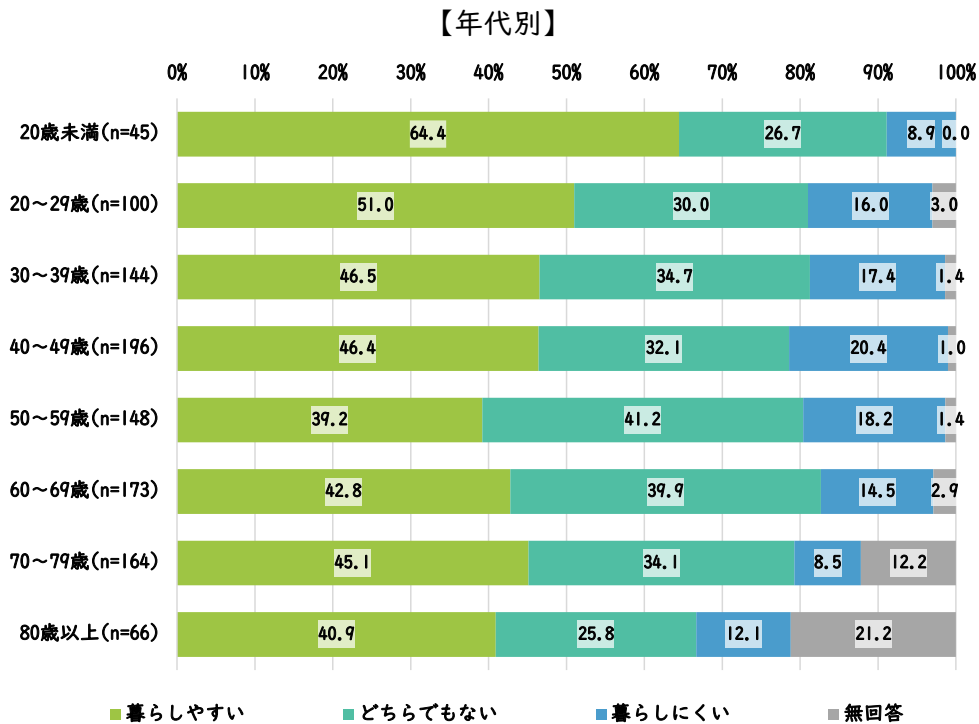
問16 山鹿市は暮らしやすい街だと思いますか

- 山鹿市の暮らしやすさについては、「暮らしやすい」が 45.3%、「暮らしにくい」が 15.3%、「どちらでもない」が 34.5%となっている。

【全体】



- 山鹿市の暮らしやすさについて、年代別では、50代は「どちらでもない」の割合が、50代以外はどの年代も「暮らしやすい」の割合が最も高くなっているが、40代では「暮らしにくい」の割合が20.4%と他の年代に比べて高くなっている。
- 地区別では、鹿本地域では「暮らしやすい」の割合が58.4%と5割を超えて高くなっている。また、鹿北地域では「暮らしにくい」の割合が23.3%と他の地域に比べて高くなっている。



問17 問16で「暮らしにくい」と回答された理由について（自由記述）

- 公共交通機関の少なさやバス路線廃止等による「交通アクセスの不備」を訴える意見がかなり多くみられ、車が必須な生活であるため免許返納後の買い物や通院を心配する声もあった。
- また、「就労先や病院の少なさ」「生活用品の購入場所が近くにない」「大型複合施設の誘致」「近所付き合いが負担」「税金が高い」という意見もみられた。

子育て環境
<ul style="list-style-type: none"><li>• 大型複合施設などがあれば子育て世代には嬉しい。習い事などのテナントも入る可能性もあるため。(20～40代女性)</li><li>• 公園が少ない。道が狭いけど大型車の通りが多い。夜間の小児科がない。子育てしにくい環境。(20代女性)</li><li>• 子育て支援など分かりにくい。助成が少ない。(30代女性)</li><li>• 子育てがしにくい。活気がない。公園の整備を整えてほしい。小さい子どもが遊べる場がない。大きな公園は鹿本の方ばかりにある(遊具が古い)。(30代女性)</li><li>• 少子高齢化により若い人への負担が何かと大きい。時間とお金と心に余裕があって、自然が大好きでないと、住むメリットが感じられないです。(30代女性)</li><li>• 利便性と子供が遊べる公園の整備や遊具の種類が少ない。目線を高齢者から子どもへ。(40代男性)</li><li>• 子育て世代から見れば、学生にとっての道路事情や交通の便が悪いので、山鹿市に住み続けたいと思っても、子どもの目指す学校次第では住み続けたくても住めない。アクセスを良くしてほしい。(40代男性)</li></ul>

インフラ
<ul style="list-style-type: none"><li>• メインの国道が一車線で混んでいる。(30代男性)</li><li>• 水道水がまずい(カルキが多い)。(50代男性)</li><li>• 上・下水道の整備がまだ山鹿市全体に出来ていない。道路の拡張、農振地域の除外が必要。(50代男性)</li><li>• 出水時期の土砂災害が多い。(50代男性)</li><li>• 街灯が少なく、夕方から夜にかけ学生が帰宅するのに危ない。(60代男性)</li><li>• 市道でありながら、道路の整備が出来ていないと思います。(60代女性)</li><li>• 水道代が高い。(60代女性)</li><li>• 熊本市までの道路環境の改善。(60代女性)</li><li>• 鹿央町は水道もなし。びっくりされました。(70代女性)</li></ul>

交通アクセス
<ul style="list-style-type: none"><li>• 交通が不便。(10代、30～50代、80代男性、20～50代、70代女性)</li><li>• 車が必要過ぎる。車がないとどこにも行けない。(40～70代男性、40～60代女性)</li><li>• 交通インフラ不十分。(30代、50代男性、30代女性)</li></ul>

### 交通アクセス

- JR、高速道路が通ってなく、不便を感じる。(20~50代男性、40代女性)
- 公共交通機関が少なく、バスのみ。(20代、30代、50代男性、40代女性)
- バスの少なさ。交通の整備。便利な街でない。(10代、50代男性、60代女性)
- 中心部の交通の便が悪い。駅、高速道路が近場に無い。(30代、70代男性)
- 車が運転出来る間ならまだよいが、年を重ね、運転出来ない時は交通機関が乏しいので買い物や通院の際、とても不便。(50代、60代女性)
- 鹿央町は交通の便も悪く、買い物も不便です。将来、車の運転ができなくなってしまう不安があります。(50代、70代女性)
- 菊鹿町にはバスが通っていないので、病院通いなど不便である。(60代、70代女性)
- 鍋田、あいのりタクシーが少ない。病院にも行けない。増やしてほしい。(40代男性)
- 電車、高速道路のスマートインターがあればもう少し活気が出ると思いますが、お金がないので仕方ないと思っています。(40代女性)
- 自然災害(台風、大雨、地震等)には地形的に安心して暮らせる所と思います。交通関係で電車、バス等の利用ができない所が高齢化にいくなかで暮らしにくくなっていると思います。(50代男性)
- 山間地域での公共交通機関が少なく不便。(60代男性)
- 熊本市への交通費が高い。電車が無いので、玉名迄のバスの便を増やしてほしい。電車が通ればまだ良い。(60代女性)
- 子どもが少なくなった上、車を運転するお年寄りが増え、よそからのダンプの通り道で危ない。スクールバスの時代なのに、まだ4km以上はバスにならない。(60代女性)
- バス路線が次々廃止され、老人には行動範囲がとても狭まっている。(70代女性)

### 雇用・進学

- 会社が少ない。働く場所がない。(30~50代、70代男性、20~40代、60代女性)
- 若い人が減っているのは、山鹿市内の仕事の量が少なく、仕事があっても賃金が少ない。そのため生活ができるには残業をするしかない。残業すると子育てに力が入れない。賃金が少ないので山鹿市を転出する人が多い。(30代、40代男性)
- 求人も少ない。介護職、医療職の給料が低い。(20代女性)
- アクセスが悪いので、仕事も進学も選択肢が少ない。(30代男性)
- 出産、子育ての子どもが小さい時はいいが、学校に行き始めてからは、学校が近くに無かったり、高校も熊本市内に行かなければならないこともある。(30代女性)
- 小学校が統合され山鹿小学校に集中しすぎ。(40代男性)
- 大学などに自宅から通えない。(40代女性)
- 車の通過場所の様になって、車が多い割には、企業は少なく、仕事で山鹿から出て、他の市町村に行く人が多い。(50代女性)
- 若者の働く場がなく、その事から、医療機関もない。企業誘致か、熊本へのアクセス整備の積極的取組が無ければ、陸の孤島化が一層進むこととなる。(60代女性)

## 生活環境

- パチンコ屋が多すぎる。(20代、30代男性、20代、30代、50代女性)
- お店も娯楽施設も少ない。商業施設の偏りがある。(20~40代男性、20~40代女性)
- 田舎すぎる。魅力がない。(20代、40代男性、40代、60代女性)
- 店が近くに無い(菊鹿、鹿北町は山鹿市内迄行かなければならない)。(20代男性、10代、60代、70代女性)
- 買い物がしづらい。欲しいものがあれば、光の森、熊本、大牟田、福岡まで行く必要があるものが多い。(30代、40代男性、20代女性)
- 街に元気・活気がない。古いだけの街になっている。(40代男性、60代女性)
- 菊鹿町には若者が少なく、活気があまりない。(60代、70代女性)
- 買い物も交通も生活も不便。(40代女性、70代男性)
- 空き家が多く荒れ土地も多い。地域の維持が出来ない。(50代、60代女性)
- 食料品店や生鮮食品などを販売する店舗が、旧山鹿市内の郊外部に立地しているため、高齢者や徒歩にて買い入れする市民が困っている。実際に働き盛りの世代も近所でない限り車で買い出しを余儀なくされている。テナントビルに誘致したスーパーの販売不振による撤退 ※市内中心部の空洞化。中心部に駐車場の整備等があればもっと買い物しやすい。(70代男性、30代女性)
- 観光客だけでなく地元の方も楽しめるイベントなどをもっと開催すべき。山鹿にもマーケットのようなものがあれば、毎週市内市外・県外からマーケットに足を運びに来ると思う。山鹿灯籠で知名度はある山鹿市だが、それ以外で名をはせることが出来るかどうかカギであると思う。(20代男性)
- 2010年からの国勢調査では、64歳以下は5年で数百人~数千人の人口が減っているため、暮らしにくいんだと思った。(20代女性)
- ドラックストアばかり何軒もいない。(20代女性)
- 店(というかコンビニエンスストア)が足りない。都会から人を移住させたい、都会から戻ってきて欲しいならこの交通事情とコンビニのなさはまず無理。歩いて1分の距離にコンビニが複数ある地域に慣れた人間は、歩いて15分山と林と田んぼしかない町には住めない。それだけでなく、現在の住民にも悪影響。このままでは山の中に住む高齢者がどんどん孤独死する。下手をすると買い物に行けず家に来てくれる知人もおらず餓死する。すでにそうなっていてもおかしくない、というかそういう事例ありそうだが。移動スーパーがあれば良いかもしれないが利用者不足で赤字になる可能性のほうが高いかもしれない。(30代女性)
- 若者向けの施設、店、就職先が少なすぎ。このままでは若者は全員、他市町村へ流出します。思いきって若者向けのジムを格安で使用できるよう新たな設備を整備したりスケボー場を作ったり、若者向けの何か目玉を作ってほしい。このまま老人ばかりの町になってしまうならば、当方も近い将来、山鹿市を出ていきたいと思っている。(40代男性)
- 計画された街づくりではなく、全てが後付け感しかない。八千代座は大事だが、それに頼り切った観光地づくりで似通った店が多い。(40代女性)
- 市営団地がもう少しあれば。交通の便や買い物に大変な場所が多い。(40代女性)

### 生活環境

- 鹿央町に住んでいるが、買い物するところがない。山内地区の年老は特に何も無い。ごみ処理場の跡地が整地され広々して空き地になっている。鹿央町の中心に皆が買い物できる施設の検討をしてほしい。年を重ねても買い物は生き生きしている自分の好きなものを見て触って買う。老化を防ぐ1つの手でもある。(50代女性)
- 若い方、年配の方々が出会い、交流する場を作ってほしいです。(60代男性)

### 医療・福祉

- 病院がない(特に小児)。(20代、30代女性)
- 良い病院がない。自分達に合った病院が無い。(40代男性、40代女性)
- 病院も申し訳ないが、良い先生が少ないと思う。(40代女性)
- 山鹿には夜間に病院に行きたい時、担当医が違ったり研修医だったりして行けなかった。夜間開いている病院は、小児科・内科・外科は必ずいて欲しい。病院をもっと市民がいつでも安心して行けるようにしてもらいたい。(60代女性)
- 病院は沢山あるが、信頼できる医療体制ができていない。老人になっても自立した生活を望みます。(70代女性)

### 地域コミュニティ

- まわりが顔見知りばかりなので自由がありません。田舎で自然豊かですが、正直それだけ…。仕事もありません。山鹿市外に住んでいたときの方が干渉されずよかったです。子育ても医療費がかからないのはありがたいですが特にこちらの地域は中学校もいつ廃校になるかわからず今後不安です。私はもっと市外の方がこちらに移住して活気を出してもらいたいです。こちらの方は外部からの方をよく思わない傾向にあると思います。(20代女性)
- 私も外からきた人間ですが、そういった人を受け入れる体制がない。封鎖的。新しい文化や習慣を取り入れようという気持ちを感じられない。古い習慣を守っている感じ。かなり時代遅れな町に感じる。(20代女性)
- 高齢者の交通事故が社会問題化し運転免許返納の動きが加速しているが、車がないと今の生活が成り立たない。地域との付き合いが煩わしいと感じることが多い。溝浚いや林道の雑草刈、年に数回ではあるが、高齢者だけの世帯でも半ば強制参加。必要な制度ではあるが消防団など。(40代男性)
- 市内の中心部に近い方は良いですが、その他の地域に住んでいると、どこで何の催しが行われているか全くわからない。若者が減り、子供も少なくなり、高齢化が進むばかりです。私はやっと子育てが終わりそうですが、その先親の介護はいいのですが、地域の方の介護もしなければならなくなりそうで不安です。(40代女性)
- 資源ゴミの出し方が悪い。地域の行事が多すぎる。区費が高い。(50代男性)
- 高齢者ばかりで地区の行事が多く、昔ながらのやり方も大切ではあるけれど負担も大きく、大変で不安。(60代男性)
- 個人情報が出しやす。(60代男性)
- 地域から出てない人ばかりで変わらない。(80代女性)

### 地域コミュニティ

- 山鹿市の中でも居住地域によると思いますが、高齢化が進み、基幹産業が一次産業であった地域も産業従事構造が大きく変化している中で、従来からの慣習的なもの、住民相互の協力、努力によって住民生活が、成立しているものも少なくないのではないのでしょうか。たとえば、プライバシーの確保はなかなか難しいですし、公役や、高齢者、独居世帯のケア、地域行事など住民負担も大きくなってきているように感じます。高齢化が進み、実働人口は減り、地域行事については住民、自治会での存続判断にもなってくると思います。予算や人材の問題もあると思いますが、行政のサポートや介入の必要性を感じます。産業が活発で、財源潤沢にあるとは言えないと思いますので、住民の費用負担増とのバランスをとるのが難しいところだとは思っています。また、環境面では、農村部なのである程度やむを得ない部分もあるとは思いますが、時期によっては野焼き等による煙、一部モラルの欠如によるゴミの焼却で発生する煙、においのため、どんなに天気が良くても洗濯もの等が外に干せないストレスがあります。夜間とは言いませんが、最低限、日中は避けてほしいところです。(50代男性)

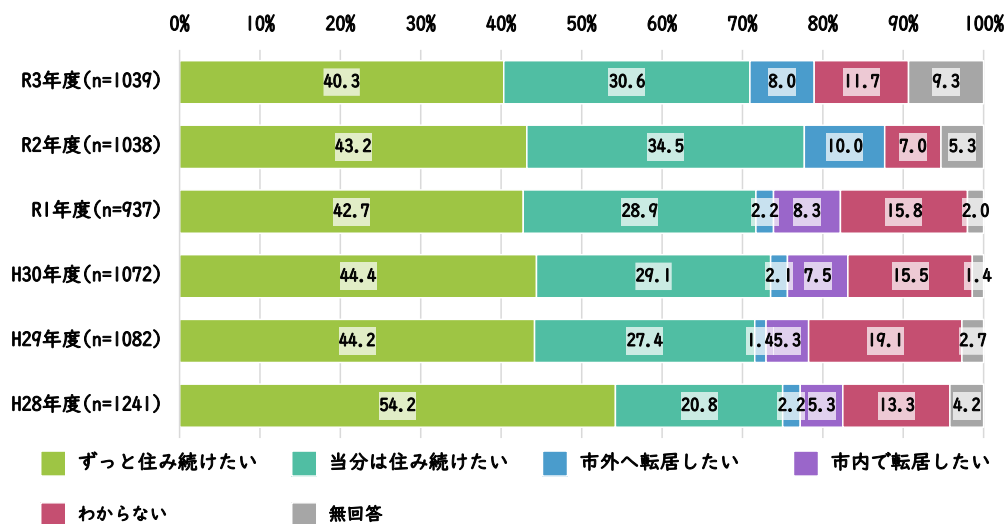
### その他（税金、施策について）

- 税金が高い。(50代、60代男性、40～70代女性)
- 山鹿一極の政策が多く、山鹿全域で見ると衰退・暮らしにくくなっている。(30代男性)
- 年寄りが安心して命つきるまで生活できない。支えが不十分。(40代女性)
- ゴミ袋の質を変えて安くしてほしい。他県から見てもこれ程高い所はない！市民に対して、あまりにも負担をさせていると思う。(50代男性)
- 子供はせめて医療費無料を小学生までにして、もう少し高齢者にも介護保険料を安くしてほしいと思います。(60代女性)
- 人にやさしく将来を指導する人材が少なく、助けを求めている人たちに手が届いていない。(70代男性)
- 生涯学習があるが（それに通っているが）、以前より高額になり、年金暮らしには高すぎる。以前の様に補助金を出していただけたらと思う。(70代女性)

問18 今後も山鹿市に住み続けたいと思いますか

- 山鹿市での居住意向については、「ずっと住み続けたい」が40.3%と最も高く、次いで「当分は住み続けたい」が30.6%となっており、約7割の方が住み続けたいと回答している。

【全体】

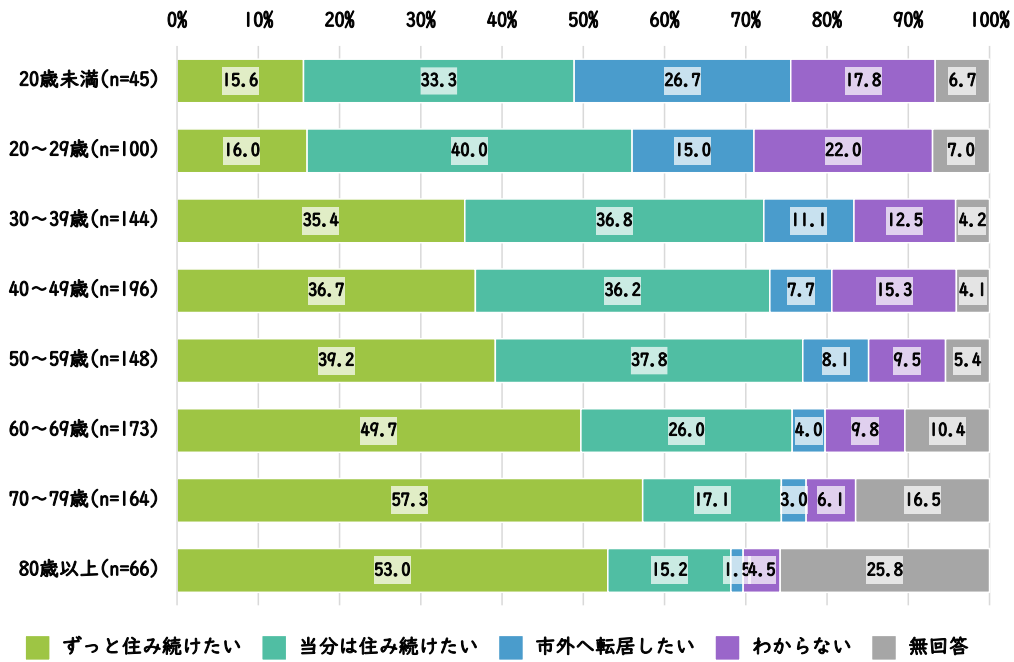


※R2年度以降は「市内で転居したい」の項目なし。

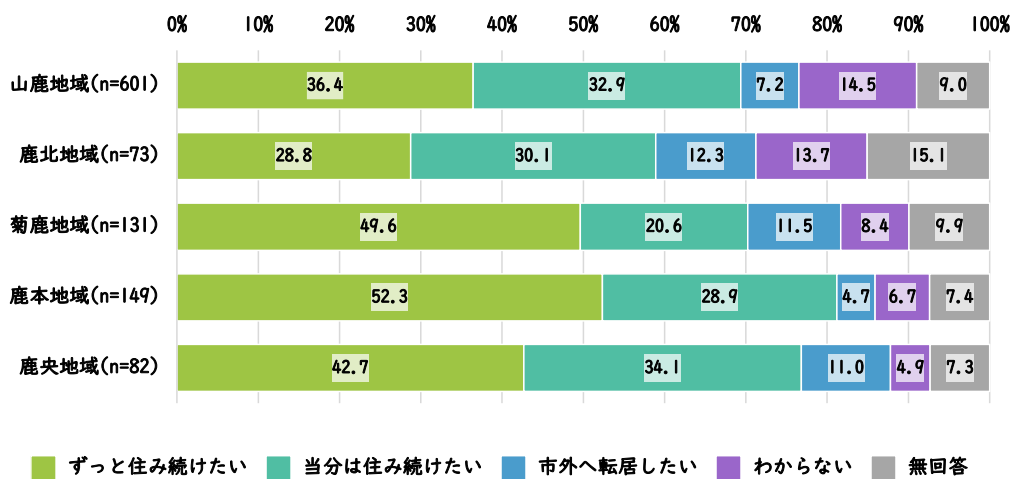


- 今後の山鹿市での居住意向について、年代別では、年代が上がるにつれて「ずっと住み続けたい」「当分は住み続けたい」の合計が高くなっているが、年代が下がるほど「市外へ転居したい」の割合が高くなっている。
- 地区別では、鹿本地区で「ずっと住み続けたい」が52.3%と5割を超えて高くなっている。

【年代別】

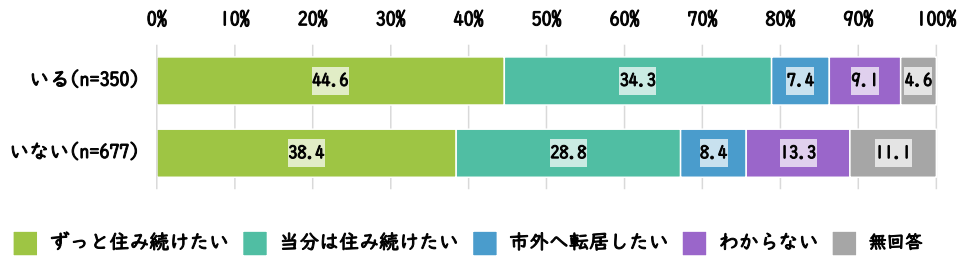


【地区別】

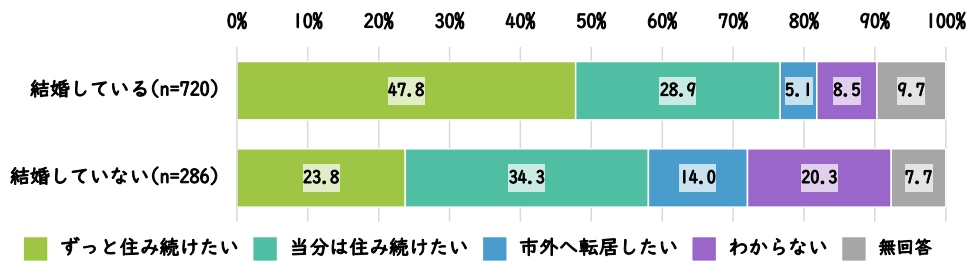


- 山鹿市に「ずっと住みたい」「当分は住みたい」の合計は、子どものいる方の割合がやや高い。
- 結婚の有無別では、「ずっと住みたい」「当分は住みたい」の合計は、結婚している方の割合が高く、7割を超えている。

【子どもの有無別】

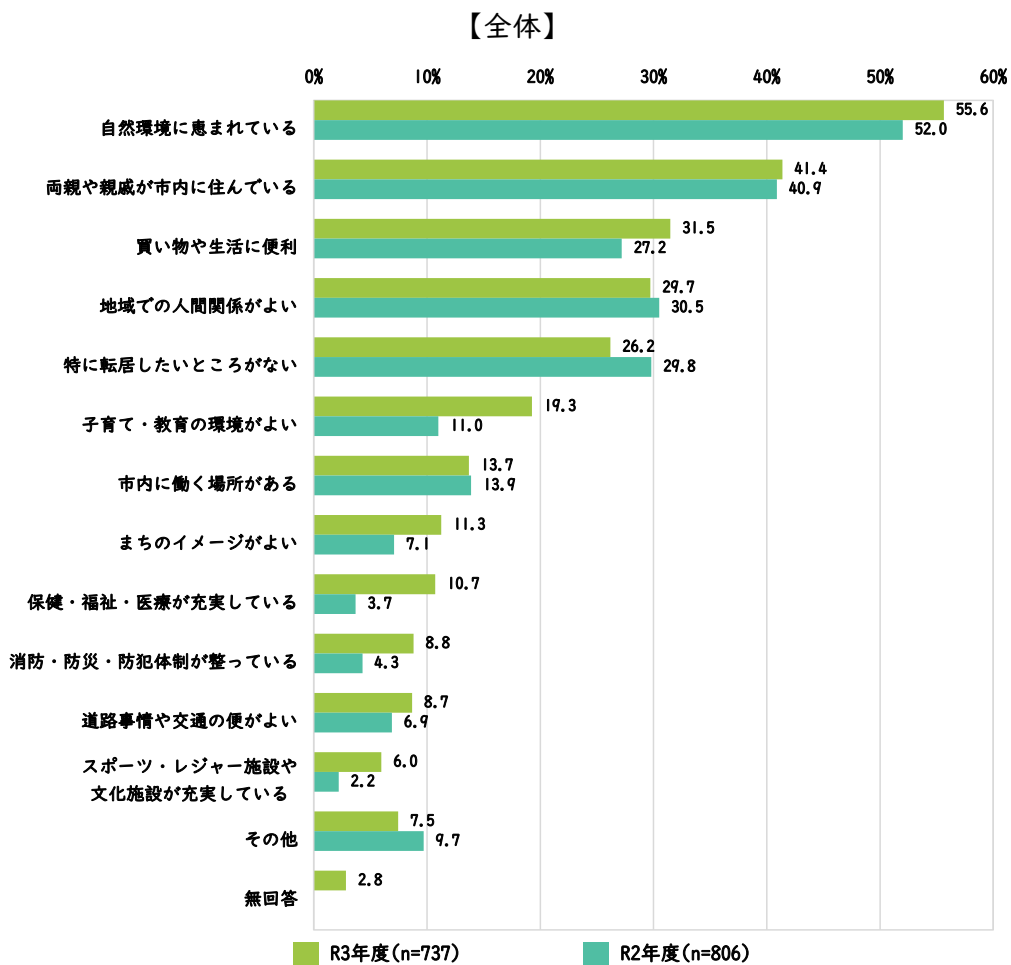


【結婚の有無別】



問18 住み続けたい理由（複数回答）

- ・「ずっと住み続けたい」「当分は住み続けたい」と回答した方の理由として、「自然環境に恵まれている」の割合が55.6%と最も高く、次いで「両親や親戚が市内に住んでいる」41.4%、「買い物や生活に便利」31.5%となっている。
- ・R2年度との比較では、「子育て・教育の環境がよい」が8.3ポイント、「保健・福祉・医療が充実している」が7.0ポイント高くなっている。
- ・その他の意見として、「生まれ育った場所、地元であるため」「持家・土地・墓があるから」「山鹿、温泉が好き」「高齢、介護のため」という意見もあった。



問18 市外へ転居したい理由（自由記述）

- 「交通アクセスの不備」を訴える意見がかなり多くみられ、車が必須な生活であるため免許返納後の買い物や通院を心配する声もあった。
- また、「生活が不便」「就労先や病院の少なさ」「商業・娯楽施設がない」「町内行事が負担」という意見もみられた。

子育て環境

- 小さい子供たちの遊ぶ所がない。(20代男性、30代女性)
- 子どもが生まれたり、子育てしやすい所がいいから。(20代男性)
- 子育て支援がいいと思わない。(30代女性)
- 山鹿は子育て世代にとっては住みにくい。産婦人科・小児科がない。交通インフラも整っていないので、他市から来ようとしても便がない。住む前は山鹿は魅力的に感じていたが、住んでみてがっかり。温泉やワイナリーなど、もっと上手にアピールし、適切に進めていけばもっと良くなると思う。このままではどんどん他市に流れていくと思う（特に子育て世代）。(30代女性)

インフラ

- 防犯面で街灯が少ない。真っ暗で歩きにくい所がある。(60代男性、30代女性)
- 山鹿市より菊陽町の方が栄えている。道路整備など、市民にきちんと意見を聞いて執り行うべき。無駄が多い。(20代男性)
- 電波が悪い所がある。(30代女性)
- 道路（とくに横断歩道）の白線が消えていて、横断が危ない所がたくさんある。(30代女性)
- 公園や運動施設など余暇が楽しめるが充実している市へ行きたい。リラックス出来る環境整備が整った街へ行きたい。(40代、50代男性)
- 土砂災害警戒区域に住んでいるから怖い。(50代男性)
- 一度横断歩道の白線が消えてしまっている箇所を舗装してもらったが、中途半端で1年以上経過しても、そのままほったらかし。こんなことを見てきたら、良い街になどなるとは思えない。(50代男性)
- 水がまずい(50代男性)
- 年を取ったら便利の良い病院など、インフラの整った町に住みたいと思う。(60代女性)

交通アクセス

- 交通の便が不便。周囲に何も無い。(20代、50代、60代男性、30代、50代女性)
- 車が無いとどこも行けない。(20代、40代、50代男性、60代女性)
- 免許証返納したら行動できない。(40代、50代男性、40代女性)
- 車を使わずに買い物ができる所へ移住したい。(50代、80代女性)
- 鉄道が通っていない(10代男性)
- 車での移動のみなので(バス等ない地域)将来不安です。(40代男性)

#### 雇用・進学

- 山鹿市内で仕事がない。(20代、30代、50代男性、20代女性)
- 賃金が安い。(30代、40代男性)
- 働きにくい。(10代女性)
- 進学のため。他県の大学に進学したい。(10代女性)
- 就職するために市外に出ないといけないから。(10代男性)
- 企業が少ない。就職したいところが山鹿市内にはない。(20代男性)
- 教育環境が悪い(進学校がない)。(40代男性)
- 職場が市外の為。(40代女性)
- 修学資金の内容が玉名より条件が悪い。(50代男性)
- 高齢者の働く場が少ない。(60代男性)

#### 生活環境

- 不便なところが多すぎる。(10~30代男性、10代、40代女性)
- 商業施設が少ない(映画館、若年層が好む洋服店など)。(10代、30代男性、20代、30代女性)
- 買い物する時が困る。(50代男性、20代、40代女性)
- 田舎だから。(20代男性、20代女性)
- 山鹿市の将来に衰退しか見えない。(50代、70代男性)
- 山鹿灯籠ばかり力を入れているようで、はっきり言って魅力がない。灯籠には興味ないので、他の支援に力を入れるべき。さくら湯周辺を活気出てくる場所にしたら、観光客も増えるのではないかと。年中観光したいと思えるようにしなければ意味がない。(30代女性)
- 老後を考えたら、実に住みづらいから。(40代男性)
- 家賃が高い。(40代女性)
- 子ども達が都会から帰ってきたいと思えるような市にまちにしてほしい。人口増の為にそれが必要だと思う。(60代女性)

#### 医療・福祉

- 病院が無い。(50代男性、20代女性)
- 福祉・医療が充実しているとは思えない。(50代男性、30代、70代女性)
- 何も無い。産科もない。小児科も微妙。夜間開いてない。仕事もない。(30代)
- 名医がいない。障がい者用の駐車場で、ハートフルパスを持っていない年寄りや若い人がよく停めているし(市販のシルバーマークで障がい者用の駐車場に車を停めている)。(50代男性)
- 障がい者に優しい街にするのなら、市営での施設はできないのか?医療センターのDr問題。市民を待たせるのに何の意識も持たない病院。都市化プロジェクト住民説明会参加したが、市役所スタッフが返答できないことがあった。そんな状態で都市化できるのか?住民の声など聞き入れていないのが見て取れる。いずれ転居すると思う。(50代男性)

#### 地域コミュニティ

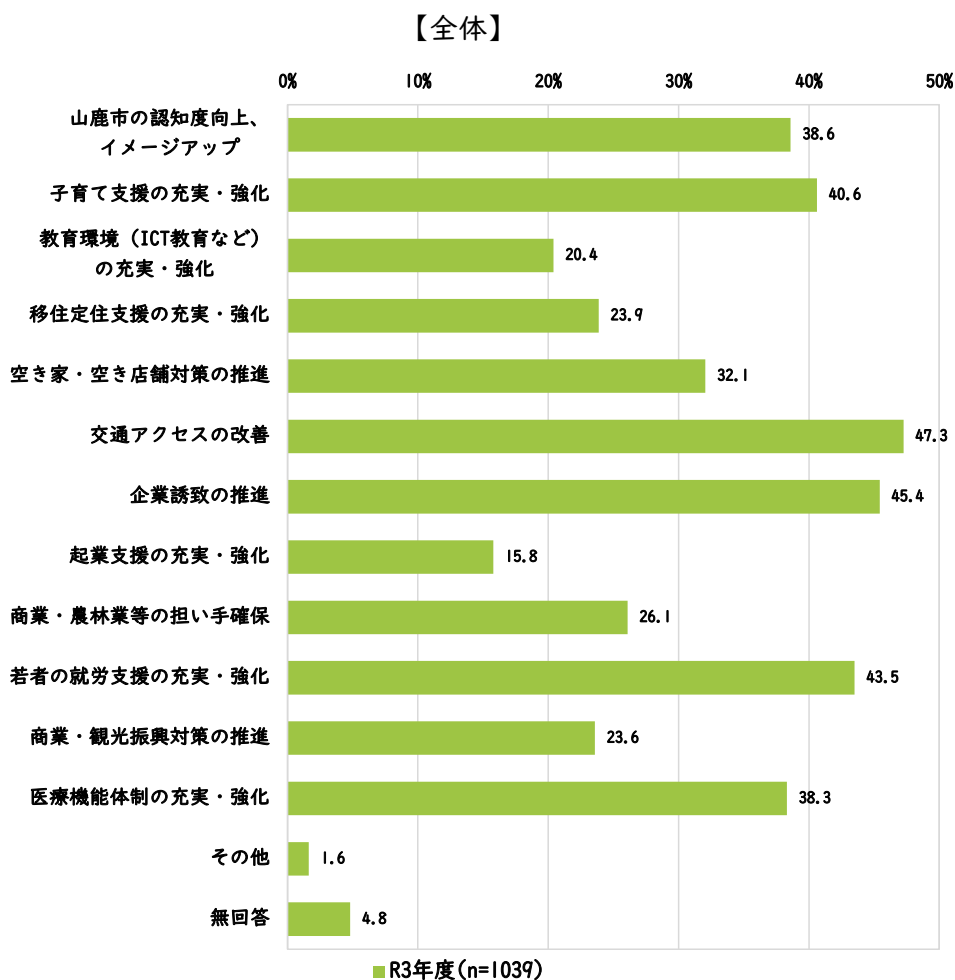
- 地域の付き合い。地区行事、役員が大変。(50代、60代男性)
- 山鹿の人に染まりたくない。(20代男性)
- ゴミ捨てのシステムを何とかしてほしい。他所から引っ越してきた人はゴミが捨て辛く、結果、可燃ゴミに不燃ゴミを混ぜたり、投棄したりせざるを得ない、といった話を聞く。(30代男性)
- 閉鎖的な考えの人が多く、移住を市外からしてきた人に対してのあたりが強い人が多いので、行事など面倒。早く転居したいと思った。(30代女性)
- 町内行事が多すぎて子育てや介護、仕事と忙しいのに、負担が大きい。あまり出席できないと、近所の人から不満を言われ、ここでの生活は精神的にきつい。(30代女性)
- とても自然があっというと思うが、野焼きの煙が迷惑。人間関係が近すぎなのも問題かと。高齢者の運転マナーが悪い。ウインカーもせず、ルールは適当に運転している感じ。山鹿の高齢化社会のための人材を育成している感じで、私は魅力を感じない。医療は都会の方が質が良い所が多いように感じる。ネットでの口コミが悪いので。自然がいっぱいあっていいけど、元気がない。急激に変わりゆく今の時代に山鹿はあるものだけを守ろうとしている感じで面白くないと感じている。(30代女性)
- 親の介護が終わったら、福岡へ戻る予定。(50代男性)
- 当分の間は住み続けたいと思っているが、後継者(業)がないので、転居しなければならぬ時が来るかもしれない。(60代男性)
- 転居が可能ならば出たい。母が居るから、家があるため出られない。(70代男性)

#### その他(税金、施策について)

- 税金が高い。(10代、20代、40代、60代男性、80代女性)
- 予告なく税金を増税するから(40代男性)
- 移住しても何も支援がない。(50代男性)
- 若者の定住を促進する方策を長い間、何ら講じられていない。(60代女性)

問19 市外在住者や企業に「選ばれる山鹿」になるため、特に重要と思われる取組（複数回答）

- 市外在住者や企業に「選ばれる山鹿」になるための重要な取組について、「交通アクセスの改善」が47.3%と最も高く、次いで「企業誘致の推進」45.4%、「若者の就労支援の充実・強化」43.5%となっている。
- その他の意見として、「震災、災害に強い地域をアピールする」という意見もあった。



## VIII. 総合戦略について（話題別 自由記述抜粋）

問20 今後、充実すべき取組や、新たな取組等について

### 子育て支援

- 子育て世帯を取り込むなら、産婦人科、小児科の充実。若い世代を転居させないためには、合志の様に利便性を良くする。電車を山鹿にも開通させる。大型複合施設のような娯楽施設の建設。同じ建物が多すぎる。映画館、カフェなど、ショッピングセンターが山鹿にあるだけで、菊池、玉名、久留米などから人が来ると思う。(20代女性)
- 子育てしやすい山鹿市であってほしい。保育者の指導もしてほしい。(30代女性)
- 子育て支援の充実・強化が強化されるだけで、ずいぶん違うと思う。(30代女性)
- 若手の育成は当たり前だとして、子供の成長のためになる政策や観光施設の強化、安心して暮らせる街づくりなどやることは多いと思います。関係のない者は知らないことも多い。(40代女性)
- 今後、少子化は増々進んでいきます。同時に将来的には、学校の統合に直面するかもしれません。旧町に、小・中学校は残る方向にすすめて下さい。鹿北の場合、市立の三園がなくなり、法人化として引き受けてもらいました。その廃園になった園の有効活用はないのでしょうか？ただ朽ちて行くのを待つだけかと。一度数年前、職員さんに伝えたのですが、廃園の三園それぞれに本棚、机をはじめ、まだ使用可能な品物、又は鍬やスコップ等の農作業の道具など残っていました。(シルバーの作業ではいられた方から「ずいぶんもったいないことしなはる!」の意見を聞きました。もう遅いかもしれませんが、市の財産です。町民に公表して入札でもして、市の歳入にして欲しかったです。(70代女性)
- 私が思うことは、まず教育ではないかと思います。広い意味での教育と考えます。若い世代がこの山鹿に住み、成長し、結婚し、子育てをしていくことのできる市ではないかと思っています。その為にまず若い世代が出ていかない、残ってくれる就労。結婚して子育てをしていく為に両親が働いていて、子どもを安心して預ける事のできる場所。そこへ連れていく事の出来るアクセス。車が多いでしょうが、駐車場から雨に濡れずに施設へ（特に乳幼児）。いじめのない学校生活が出来る。そんな場所に若い世代は集まるのではないかと考える。息子が家を建てた所は、遊技場が一件もありません。けっこう静かな所ですが、買い物・病院・保育園・学校等近くにあります。通勤出来る範囲に就労出来る。企業の誘致、子育て、教育と一貫性を考えなければと思っています。1つずつ離してしまっはいけないのではないかと。もはや、山鹿市は観光だけでは成り立たないと思います。(70代女性)

### インフラ整備

- 子供が1人でも安心して帰れるように街灯を増やすか明るくして欲しい。(30代女性)
- 道の幅の割に大型トラックが多く、通過地点になってしまっている。バイパスで大型トラックの動線を新しくする取組が必要。(40代男性)
- 安心子育ての為に、至急ブロック塀倒壊危険対策をお願いします。ひび割れ幅が広がってきています。(50代女性)



### インフラ整備

- 高齢化がすすみ車の移動が出来ない方が増えていく事になると思うので、高齢者タクシーなどの充実、買い物の手伝いなど必要になってくる方は多くなってくると思います。できるだけ体力の低下を防ぎ医療費負担を減らすためにも、気軽に出来る運動施設の充実も考えて頂きたいです。高齢者が住みやすい町づくりだと人は集まり定住になるのでは無いでしょうか。人が集まれば、人口も増え、子育ても充実してくると思います。(40代女性)
- 街が栄えるためには、インフラ整備しかない。温泉、ワイナリー、シルク蚕業はその後。目的と手段が逆転しているのをよく理解した方がよい。(50代男性)
- 綺麗なまちづくり、電柱をなくして、電力線通信ケーブルを地中埋設(豊前街道等)。2m未満の狭い道路でも舗装の100%化。(70代男性)

### 交通アクセスの改善

- 熊本市内とアクセスを整備し、市内への通勤圏内とする(朝も1時間以内)。(60代、70代女性)
- 交通インフラ。(30代男性)
- まずは、交通の便と、利用料金を工夫することで山鹿の特色であるサービス業の部分は生きていきます。そこが生きてくることで、雇用の促進にもつながると思いますので、重要度が高いものはそこかと思います。単純に電車が無いのはすごく痛いですし、そもそも熊本自体電車の本数が少ないのは観光客の減衰にもつながると考えています。(30代男性)
- 交通アクセスの悪さ。企業誘致をすすめなかったことが、こんな寂れた町にしている。高速道路(植木-熊本間)が¥530と高い。植木の国道は渋滞していることも移住したりすることの1つのハードルになっているのでは。もっと市民→議員→役所→県→国ともっと安くするよう伝えて行ってほしい。県北病院へのアクセスの悪さ。災害時等の他ルートの確保。(50代男性)
- 鹿央高速バス停付近にスマートICをつくり、その付近の農地を工業団地に整備し、企業誘致を進める。スマートIC出入口は国道3号線まで延長し、山鹿市街地への交通の利便性を強化する。(50代男性)
- 移動手段、公共交通機関の不備。(50代女性)
- 高齢者が自家用車無しでも自由に何処でも何時でも行動出来るシステム作り(60代男性)

### 雇用施策・企業誘致・人材育成

- 企業(優良)誘致。(40代、50代、70代、80代男性、60代女性)
- 平山温泉のブランド化。(40代、70代、80代男性)
- 各産業(農業、商業、観光など)のリーダー的人材を確保し、それぞれを活発化してほしい。自然を守り続けてほしい。(60代、70代女性)
- 最重要は企業誘致からの雇用の創出。そのための土地の確保と交通アクセスの改善。既存の観光施設や農業中心では次代を担う若者やその子を増やすことは出来ないと考える。山鹿市で生活が完結できるよう、教育施設、買い物できる大型ショッピングモール、出産施設が必要。(30代男性)

## 雇用施策・企業誘致・人材育成

- 1つ1つの戦略がばらばらでなく、総合的に関連している。経済力の向上が就労や農林業の発展、結婚、人材、子供達の定住、観光にも影響してくる。企業誘致、それも正社員の雇用、農林業の方への支援、お年寄りの健康による医療費の減少。生きがいある趣味活動など、講座の充実をお願いします。大変でしょうが期待しています。(30代男性)
- 大学みたいなものを作った方がいいのかと思った。高校を卒業していただきたいみんな、頭の良い人は出て行くので。(30代女性)
- これまで大規模な商業施設の参入を受け入れてこなかった事も何度か聞く(本当なのかは分からない)。積極的に受け入れることで地域の活性化に繋がり、山鹿の経済も潤うと思う。(40代男性)
- 新規就農をしているが、設備投資のための補助金や融資を検討してほしい。(40代男性)
- 才能やセンスのある高校生を集め、別の角度から山鹿の魅力を再発見し、世界に向けて発信してもらえたらお金がかからない。また、ゆくゆくはそのチームに選ばれる事がステイタスであり、大学受験の際有利になるという流れになると最高。(40代女性)
- 若者がそのまま地域に残れるように、就労支援を行い、結婚しても山鹿市で子育てをしてもらい、人口の増加に取り組む必要があると思います。自分の子どもも後数年で社会人になりますが、このまま山鹿市に残らせるよりは、都会に出て色々経験してほしいと思っています。現況の山鹿市なら、山鹿から出る事を子供達には進める予定です。(40代女性)
- 定年退職後の方々の働きやすい環境を整えてほしい。年金も当てにならないので、ずっと働かなくてはならないと思うので、自分の為にも。子ども達が将来の山鹿市を支えてくれると思うので、しっかり手厚く、子供達が学べて遊べる環境作りを。きっと山鹿市がして頂けたら、大きくなって又山鹿市へ返してくれると思います。(40代女性)
- 企業誘致を積極的に行うこと。経済は重要であり、生活する上での基本。次に大事なのは将来を考えた時に未来に展望する時に、人口の増加は必要。婚活のサポート→定住→出産→医療→子育て支援の充実によって、活気も出てくるし、幅広い考えやアイデアもより良い活路も見出されてくるのではないと思う。(50代男性)
- 山鹿市は受け身の政策が多すぎた。国、県への要望が必要。平成27年だったか、企業誘致のための調査をしているが、活用されていない。企業誘致が出来る条件を整えることが山鹿市の発展につながるのでは？(50代男性)
- 企業(大手)誘致して、税収UPを図らないと、数年先は道路の補修すらままならなくなる。国の税収に頼る街になってしまう。農業の大切さも分かるが、税収が見込めないのは、十分承知のはず。自立できる町を目指してほしい。すでに県北、県南の街には大きく遅れをとっている。特に、山鹿、菊池市は。これだけ大手企業が熊本に入ってきているが、山鹿には300~1,000人規模の企業がほぼない。10年、20年先の人口(年齢推移)。税収のシミュレーションを考え直すべき。(50代男性)
- 企業誘致するために、早期に国道整備いつ工事完了するのか？(各線2車線)大きな企業=人口増では？若者が集まる施策、雇用、他の市も含め高齢化が進んでいる。交通の便が悪すぎ。高齢者が危険をわかっているにもかかわらず自家用車で運転している。カッコいい総合戦略より優先してほしい市民の声を反映してほしい(60代男性)

### 雇用施策・企業誘致・人材育成

- 地球温暖化防止のためにできることを子ども達の教育として取り組んでほしい。水道・電気等の節約生活の教育。緑を増やす事の大切さ。小さな頃から一人ひとりの努力が大事という事を教えてほしい。家庭では無理と思う（今の親を見ていると）から、教育の一貫として学校や地域で教えてほしい。昔の暮らしの体験などをして、今の暮らしとの違いを知る事など。（60代男性）
- 店舗の充実を早期に。（60代女性）
- 熊本地震では山鹿地域は比較的被害が少なく、安定的な地盤があり、工業団地の計画により企業誘致の推進にて若者が多く定住する活気ある山鹿市を望みます。大津町、菊陽町、菊池市、IT企業が多くなり、熊本もシリコンアイランドとなります。山鹿市も遅れを取らない様お願いします。（70代男性）

### 地域活性化

- 中心地の「プラザ5」の活用方法には少し残念です。空き店舗も多いし、駐車場もわざわざ屋上に停めないと行けない。「足湯」広場もムダに広いけど、駐車場になっているわけでもない。さくら湯も、サウナすらついてなく、反バリアフリー。山鹿の中心部にスーパー銭湯のような温泉メインの施設があると、市内の人も喜び、市外から来た日帰りの人にも喜ばれると思う。まだまだ改善していけば、観光地としても有名になれる物がたくさんあると思うので、市長さんをはじめ、年を取った人の考え方から若い方への考え方を取り入れて、頑張ってください。（40代男性、50代女性）
- 観光目玉が温泉頼りは考え物で、いくつか観光スポットを作ってアピールすることが山鹿市の認知度を向上させるためのひとつの手立てだと思います。（50代、60代男性）
- 山鹿のイメージアップをマスコミ等を活用し、他地域に山鹿の良さを認識させて、商業、農業の活力を強めて、山鹿に住みたいと思わせる努力を願いたい。（80代男性、50代女）
- 菊陽町、合志市等人気の街の見習う点をどんどん取り入れれば。山鹿市のゴミ袋も価格高いです。（20代男性）
- NHKBBSで放送されている街角ピアノを御存知ですか。是非、温泉プラザに閉校になった学校のピアノを置いてほしいです。（20代女性）
- 交通アクセスは充実しているので、山鹿に家族で泊まれてプライベートが確立され、美味しい食べ物が食べられる所があれば、どんどん人が集まり人気が出ると思います。山鹿和牛、りんどうポーク、イチゴ、スイカ、果物、おしゃれなホテル（コテージ）薪ストーブを作ったグランピング等で、美味しく食べられれば良いなと考えます。山鹿は災害もなく、本当に豊かで恵まれた市だと思います（あと、お茶も活用して）。（50代男性）
- 山鹿市は良いまちで、特に「温泉」トロトロの湯がとびぬけて良いと思うのに、そんなに他の地域からの人達にまだまだ知られていないと思います。「黒川温泉」のようにとは言えませんが、一致団結して山鹿を盛り立てて協力してつくりあげていくと、まだまだ伸びていく。（50代女性）
- 「温泉はどこがいいですか？」と聞かれたら、私は「平山」と答えます。平山の取組を山鹿全体に広げて、山鹿温泉を充実させてはいかがですか。（50代女性）
- 温泉プラザに無駄な投資は止めるべきです。豊前街道に投資すべきです。（60代男性）

### 地域活性化

- 観光のみに力を入れた姿勢からの脱却。(60代女性)
- 山鹿灯籠、八千代座、温泉としても他の地域より優れた温泉であります。年間を通して山鹿灯籠踊りを観光として体験できる施設があればと思います。(70代男性)
- この山鹿市は一部の封建的な考えで生活政治的な面で抑え込まれている気がする。これは産業生活面でずいぶん後れを取っていると思う。(70代男性)

### 医療・福祉の充実

- 産婦人科をはじめとする医療機関体制の充実・強化。(30代、60代、70代女性)
- 高齢者への戦略がないので、「健康寿命日本一の町」なんかやって欲しい。(50代男性)
- 人の命を優先するための病院体制づくりを重要してほしい。山鹿の病院から離れて市外へ皆が流れていく。高齢者の通う病院だけではなく、子供から若者、中間世代のしっかり通える病院がほしい、専門医がほしいと願います。(60代女性)

### 空き家対策

- 空き家制度で家を購入した方へのアンケート実施(都会の人は田舎のボロい空き家には住めないと思う)。空き店舗補助金は、温泉プラザと豊前街道の店舗のための補助金になっているのではないかと思う。(50代男性)
- 人口減少、高齢化の歯止めはとめる事は出来ないと思う。これに対していかにして行くかが、町の存続、できるかどうかではないのか。私が住んでいるのが山間地区。後10年もすれば、空き家が増える。耕作放棄地も出てくるだろう。手入れができない田や畑だったら、今から山へ、自然な山へ返すべきではないのか。樹木、植え森を作る。水を治め、自然災害を少しでも少なくする。こういう取組もあってよいのではないかと思う。(60代男性)
- 町を歩いて廃屋や壊れた家の跡のみだったり、県外の友人が来ても案内できない。温泉、豊前街道、菊池川のイベントだけでは魅力ある町とは思えません。(60代女性)

### その他(施策、広報、アンケートについて)

- 全体にこのアンケートの文言が難しく、実際にそれぞれの政策の具体的取組例とか無いので、回答しようにも政策や支援事業など知らない事が多く、また山鹿に対する情報が少ないため回答に困りました。(50代、60代男性、40代~70代女性)
- 総合戦略の具体的な取組と成果がホームページでも見られるように、また、もっと市報などで興味を持てる様に知らせて欲しい。(40~60代男性、50代、60代女性)
- 人口が増えている街を参考に取組をしてください。(20代女性)
- 同性パートナーシップ制度があれば山鹿に定住できるかもしれない。(20代女性)
- 大手企業と個人事業者みたいなもので、知識や能力を勉強しないうちに大きくしようとする破綻すると思う。長期計画よりアンケートに多くあったが、中期計画・短期計画がない。(30代男性)
- SNS、広報など情報発信してほしいです。若者向けにはインスタなど、情報発信にいいかと思います。(40代女性)

その他（施策、広報、アンケートについて）

- 今までアンケートをやってきましたが、全ての取組を山鹿市が実現できるのか、しようとしているのか、どうやっても無理だなという印象しかありません。役所の中にいたのでは見えない景色というものがあるということをもまず公務員の方に認識してもらわないと何も変えることはできません。話を聞くだけではなく、自ら体験してみるのも手だと思います。（40代男性）
- 人口が増える、車を考えると、自然とどの分野の優先順位が決まってくると思うので、しっかり計画をして、しっかり伝えるようにしていく事からだと思います。（40代女性）
- 市役所職員は、市民の為に、市民は山鹿市の為に、見直しを！（60代男性）
- もう少しリスクを取ったチャレンジングな政策が求められると感じる。（60代男性）
- 予算・人材等が限定された中での取組は厳しいとは思いますが、具体的な長期ビジョンがほしいです。山鹿市としての方向性が決まれば、民間活力も発生します。山鹿市は温泉等の素晴らしい資産や人材も豊富です歴史もあります。日本有数の古墳が多いという事は、自然災害も少なかったはずですよ。よく聞く話ですが、山鹿市は何でもあるから伸びないとか？温泉の質も日本一と聞きます。民間活力（若手）を活用した取組は出来ませんか？若手起業家や就農者に予算を付けて下さい。過去を懐かしむのではなく、未来を語ってほしいです。市長さんも若くなりましたので、期待しています。（60代男性）
- 市全体として10年後、20年後を見据えた目標を明確にして、大胆な取組をしてほしい。ふるさと納税にも力を入れても良いのではと思います。（60代女性）
- 他県との交流をつくり、広めていきたい。（70代男性）

## IX. 【地方創生】市民アンケート総括

### 〈山鹿市の現状について〉

- ✓人口減少について約7割が危機感を感じており、前回とほぼ同様の結果となった。
- ✓元気度については、前回と同様、「活気はない」「あまり活気はない」の合計が「活気がある」「少し活気がある」を上回っている。
- ✓農林業の現状についても前回と同様に、「衰退している」「少し衰退している」の割合が約6割を占めている。
- ✓観光産業の現状については、「衰退している」「少し衰退している」の合計は45.4%と高いものの、前回と比べ10.7ポイント低くなっている。

### 〈人口政策について〉

- ✓人口政策で充実して欲しい取組では、「安心して子育てできる環境づくり」が最も望まれており、次いで「地域の未来を支える人材の育成・確保」、「移住定住の促進」であった。
- ✓満足度が最も高いのは「子育て支援事業」、不満足度が最も高いのは「夢と希望を叶える就労支援事業」となっている。
- ✓重要度については、山鹿市・和水町定住自立圏構想の推進以外は重要度が高くなっている。その中でも「夢と希望を叶える就労支援事業」、「小児医療体制の充実」、「子育て支援事業」は6割を超えて高くなっている。
- ✓重点改善項目（重要度は高いが、満足度が低い）として、「新規就農総合支援事業」、「夢と希望を叶える就労支援事業」が挙げられており、最優先で課題の改善に取り掛かる必要がある。

### 〈自由記述から〉

#### 夢と希望を叶える就労支援事業

- 就労できる、就労したい企業がないため、若者の流出・定住につながりにくくなっている。企業誘致をもっと積極的に行ってほしいという意見が多くみられた。具体的な意見として、半導体生産のTSMC 菊陽町進出に伴い、関連企業の誘致で若者の雇用を増やし、定住の促進を図ることがあげられている。
- 障がい者や高齢者の就労の場の確保、賃金の引き上げを希望する意見や取組についての周知不足もあげられている。

#### 医師・看護師修学資金を活用した人材育成

- 病院の少なさや医療従事者の不足。地域によっては、医師の高齢化を心配する意見もあった。
- 安心できる地域医療体制の整備を求める意見もあり、特に小児科や産科、専門医、救急医療の充実が求められている。
- 医師・看護師修学資金の内容の見直し、また熊本市で育成し、山鹿で就労させる育成プランがあると良いという声、制度についての周知不足もあげられている。

### 新規就農総合支援事業

- 農業で生活できる体制の整備、収入の安定、農業を支える人材育成に力を入れる事が必要との意見があり、具体的に、新規に就農するメリットや農業の魅力を伝え、新規就農者への研修の充実や補助の充実化により、若い農業従事者を呼び込むという意見もあった。
- また、新規就農者の基準の緩和を求める声、農業用機械の大型化・自動化に伴う資金援助、担い手の高齢化に伴う後継者不足、後継者のいない荒れた農地の増加に対する対応も求められている。
- 支援事業についての広報不足のため、YouTube やその他 SNS を活用しての情報発信を希望する声もある。

### やまが暮らし支援（移住定住支援事業）

- 空き家の多さに対し空き家情報が少ない、空き家対策への PR 不足という意見が多くみられ、空き家情報の広報誌などへの掲載や空き家バンクシステムをわかりやすく周知してほしい、また、空き家バンク工程が複雑なため柔軟な対応、また空き家バンク制度で購入した方へのアンケート実施を求める声もある。
- 空き家活用が移住者向けであるため、市内在住、特にファミリーへの補助での定住促進、山鹿市に通勤している方や家以外で活動したい場合などの賃貸としては使用できないかという案もみられた。
- 企業誘致と熊本へのアクセスの整備が全くなされていないため、定住が出来る社会等の保障、定住できる産業の確保が必要との声、町内の役員が空き家になりそうな時は早くから声かけすることが空き家を防ぐことにつながるのではとの意見もあった。

### 地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制構築事業

- 相談出来る体制の強化。課題を抱える方がまず相談できる場所がない。支援体制や相談窓口など関係機関がある事を広く知らせるための周知活動も必要との意見がみられた。
- 独居の方が（高齢者）多すぎるため、これからは家族がいなくても最後まで生活できる様な、生活支援の充実（ヘルパー、見守り等）が必要。介護保険以外でも、行政サービスを増やしてほしいという意見もあった。

### 山鹿市・和水町定住自立圏構想の推進

- そのような推進をしたいと知らなかった、初めて聞いた構想である、また知っていても何かが改善されている実感はないという意見が多数みられた。
- 生活圏を考えると相互協力が必要という好意的な意見もある一方で、圏域で語ってはどこも共倒れになりそう、山鹿市に隣接する自治体はいくつかあるなかでなぜ和水町なのか、和水町との連携でメリットがある人口減少に歯止めがかかるとは思えないため、菊池や阿蘇との交流が良いのではという意見もあった。
- インフラ整備、県北病院の機能の充実、熊本市内へのアクセスの整備やベッドタウン化、若者が流出しないような産業をつくるという意見もある。

### 山鹿市国土強靱化地域計画の推進

- 迅速な災害復旧対策、取組が遅い。前の災害復旧が未だに終わっておらず、復興されないままの所も多々あるという意見が多くみられた。迅速な対応と長期的災害対策、危機管理対策、防災対策の充実が求められている。
- 毎年発生している大雨対策の強化や冠水場所の把握を求める声とともに、危険場所や災害時の避難場所の周知を希望する声もある。
- 高齢化が進み、災害時の移動も難しい高齢者が歩いて避難できる避難場所の確保や避難誘導など声掛けも含めた対応の強化、地震で損傷したままの避難場所の施設の整備が求められている。
- 山鹿市のサイトで防災無線が聞けるようになったが、高齢者に届くのが心配なため、IP 電話の導入を提案する意見もあった。

### 小児医療体制の充実

- 山鹿市には小児科、産婦人科が共に少ないという意見が多数よせられた。子育て世代の不安要素を取り除き安心して子育てできる環境を整え、市外への流出を防ぐためにも入院や夜間診療できる救急医療の体制の整備、休日医療対応が早急に求められている。
- 夜間対応医療機関の HP への記載、日赤や NICU と連携し小児科医を市医療センターへ派遣する、ドクターカーの準備、近隣医療機関と連携し早急に医療機関が受診できる状況をつくることの結果的に小児医療体制を充実することにつながるなどの意見もあった。
- 子どもがいると回答した方は満足度・重要度の割合がともに高いが、不満足の高割合も高くなっている。

### 母子保健事業

- 産婦人科が少ないという意見が多数よせられている。
- 将来・未来を担う子どものためにも不妊治療費助成はもっと進めていくべきであるという声が多くあったが、不妊治療よりも若い世代での出産に支援するべきだという意見もあった。
- これから妊娠・出産を考えている人への周知不足、若者が定住するには安心して子育てする体制づくりも求められている。
- 子どもがいると回答した方は重要度の割合が高くなっている。

### 子育て支援事業

- 子どもの医療費無償化など子育て支援の手厚さを支持する回答もあるが、産婦人科、小児科の専門医がない、夜間や休日の緊急外来がないなど山鹿市の医療体制の充実を求める意見が多くみられた。
- 子どもが安心して外で遊べる場所や公園が少ない、もしくは老朽化している、保育士を拡充するための財源の確保や保育所の休日保育も含めた保育時間の拡張の検討を求める声もみられた。
- 支援制度を知らないという意見もあることから、おためし期間等あれば利用しやすくなるのではないかと、周知とともに事業の報告も広報など度々報告も必要という意見もあった。
- 子どもがいると回答した方は満足度・重要度の割合がともに高くなっている。



## 〈経済政策について〉

- ✓ 経済政策では、「食・農・観のステップアップチャレンジ」が最も望まれており、次いで「地域産業の磨き上げと競争力強化」、「新たな交流の促進」であった。
- ✓ 満足度が最も高いのは「豊前街道の歴史的まちなみ再生プロジェクト」、不満足度が最も高いのは「ふるさと未来創造プロジェクト（稼ぐ観光地再生）」となっている。
- ✓ 重要度についてはどの項目も重要視する回答がみられたが、その中でも「豊前街道の歴史的まちなみ再生プロジェクト」、「ふるさと未来創造プロジェクト（稼ぐ観光地再生）」は6割を超えて高くなっている。
- ✓ 経済政策に対する満足度はいずれも低くなっている。
- ✓ 重点改善項目（重要度は高いが、満足度が低い）として、「ふるさと未来創造プロジェクト（稼ぐ観光地再生）」についての改善が挙げられており、最優先で課題の改善に取り掛かる必要がある。

## 〈自由記述から〉

### ふるさと未来創造プロジェクト（稼ぐ観光地再生）

- 山鹿市全体のブランド不足、PR 不足という声が多くあげられている。
- 山鹿を訪れる方が一番多い大牟田や久留米にターゲットを絞った広報活動が必要との声のみられた。
- 街道沿いの空き店舗が多く、観光客が少ない。プラザ（山鹿）の中はほとんど店がなく、シャッター街になっているという声、交通インフラの整備や無料の駐車場が必要であるとの声もあげられている。
- 観光資源が点在しているが連携、整備ともにもうひとつ。全国に誇れるものが数多くある（山鹿灯籠、温泉の泉質、八千代座、鞠智城、装飾古墳など）のに活かされていないため、市と民間が一体になりリピーターにつながる取組や PR を期待するという意見とともに、八千代座、灯籠以外の何か目玉がほしいという意見もあった。

### 観光戦略プロモーション（福岡ターゲット構想）

- 交通インフラが不十分という意見がかなり多数よせられた。直通バスの復活を望む声、車のアクセスはいいので戦略次第という意見もある一方、福岡県民に山鹿市がどこにあるか知られていない、福岡から車で一時間半で行ける県外の観光地として認知度不足、わざわざ来る目玉が少ないという厳しい意見もよせられた。
- 福岡だけではなく、まず熊本県内からの観光客（県南より）をとという意見もある。
- このような構想がある事を知らなかったという意見も多数よせられており、市民にも具体的な内容について広報紙等での発信が必要との声もあった。
- 単独のプロモーションより全国をターゲットに、県北の人気観光地である阿蘇市・熊本市とのフォーメーションでの PR。阿蘇市・熊本市観光ルートの中継地として菊池市と連携し、ほかにない魅力を印象付けることで、山鹿市単独でもファン、リピーターとして訪れていただける可能性があるのではないかという具体的な意見や、ワーケーションとして山鹿温泉で疲れをとりながら仕事もできる場所の提供をとの意見もみられた。

#### 菊鹿ワイナリー、新シルク蚕業の新たな魅力創造

- どちらも PR が足りない、認知度が低いという意見が多く、全国的な PR 活動を求める意見も多い。
- 交通アクセスの不便さを訴える意見も多く、自家用車で行ったら試飲できないという意見もあり、交通手段の整備が必要。
- 新シルク蚕業についてはどのようなことをしているのかわからないため、市民への周知を求める意見もあった。

#### スポーツコンベンション誘致推進事業

- 宣伝不足という意見が多くみられ、立派な施設なのでもっと広報に力を入れてほしいとの意見が多くみられた。
- 施設を整備し、大きなスポーツイベントの誘致。そのための交通アクセスの整備やホテルや旅館など宿泊のキャパシティ不足の改善が必要という意見もあった。
- 室内温水プール、スポーツジムの内容の充実化、その他施設の活用方法等についての意見もよせられた。

#### 豊前街道の歴史的まちなみ再生

- 空き家や空き店舗が目立つという意見が多くみられ、入居しやすいような助成金の支給やレンタルルーム的に実験的な開業支援をとという具体的な意見もあった。
- 豊前街道は山鹿観光の中心であるため、周辺部を含めた整備が必要。特に公共の交通機関が不便な事を考慮して近場に駐車場の確保が必要であるとの声や SNS を利用した広報活動の必要性を求める意見もあった。
- 古い・新しいをミックスし、若者にも楽しんでもらえるような歴史的まちなみ（建造物）が残る内子町のような取組、支援よりも灯笼体験など八千代座の近辺でコスプレのイベントを市が主催する等の具体的なアイデアもみられた。

#### 山鹿米のブランド化と販路拡大

- 山鹿米のアピール不足のため認知度が低いという意見が多くあり、CM を使う等メディア戦略やコラボ等での周知を求める声もあった。
- 七城米のようなブランド化を求める一方で、山鹿米とひとまとめにせずに地域差別化に取り組んでほしいという意見、米離れや米価格の安定に対する対策や支援を求める意見もある。

#### スマート農業の推進と持続可能な中山間農業の確立

- 高齢化で担い手不足が進んでいるため、ドローンや IOT、ICT を取り入れたスマート農業を行うことは必要であるという意見が多くみられる一方で、それを使いこなすための人材やコストを心配する意見、また中山間地域では機械化が困難という声もあった。
- 後継者不足を解消するためにも、手続きの支援や補助を求める意見もある。

## 〈山鹿市に対する考えについて〉

- ✓暮らしやすさについては、「暮らしやすい」が「暮らしにくい」を上回っているが、「どちらでもない」という回答も3割で、今後も山鹿市に住み続けたいという方は約7割であった。
- ✓住み続けたい理由として、「自然環境に恵まれている」が最も高く、次いで「両親や親戚が市内に住んでいる」、「買い物や生活に便利」となっている。
- ✓住み続けたい理由について、前回との比較では、「子育て・教育の環境がよい」、「保健・福祉・医療が充実している」がやや高くなっている。
- ✓市外在住者や企業に「選ばれる山鹿」になるためには、「交通アクセスの改善」、「企業誘致の推進」、「若者の就労支援の充実・強化」が4割を超えて高くなっている。
- ✓重点改善項目（重要度は高いが、満足度が低い）として、「結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくり」「若者が将来への希望を持って自ら伸び育つまちづくり」についての改善が挙げられており、最優先で課題の改善に取り掛かる必要がある。

## 〈自由記述から〉

### 多様な戦略による産業振興と雇用創出のまちづくり

- 活動や支援に対するPR不足を訴える声や雇用創出につながっているとは思えないという厳しい意見もみられ、菊鹿ワイナリーや新シルク蚕業に固執せず、更なる雇用の創出ができる企業誘致や規模拡大に向けての支援を求める意見、若者の人材育成を求める意見もみられた。

### 結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくり

- 産婦人科、小児科の少なさを訴える声はかなり多くみられた。安心して出産・子育てができるような医療機関の充実に加え、近隣の市町村に比べ助成金等の補助が少ないという意見もあり、子育て支援の充実が求められている。
- 働く場所の少なさが若者の移住・定住につながらないとの声も多数寄せられており、安心して結婚・子育てできる環境の整備及び山鹿市の魅力を伝える活動を求める声もあった。
- 結婚している、子どもがいると回答した方は重要度の割合が高くなっている。

### 若者が将来への希望を持って自ら伸び育つまちづくり

- 雇用の場、学校の少なさから若者が市外や他県に流出してしまうことを懸念する意見がかなり多くみられ、若者が地元に残りたいと思えるような魅力的なまちづくりを求める意見、市の施策をあまり知らないという意見も多くみられた。

### 安全・安心で災害に強い住み続けたいまちづくり

- 災害時のインフラ整備を訴える声はかなり多く、中山間地域の整備を求める声もあった。
- 近年、全国的に災害が多くなってきていることもあり、避難場所の確保や防災体制の充実を訴える意見も多くあり、特に水害対策（菊池川）が求められている。
- 防災対策等の周知徹底及び市民自身が危機意識を持つような働きかけを望む声も多くみられた。

### 誰もが健康で自分らしく輝くまちづくり

- 医療体制の充実や検診の重要性を訴える積極的な啓発や補助を求める意見が多くみられた。

